TruLuX

24V型BS・110 度CS・地上デジタルチューナー内蔵フルハイビジョンLED液晶テレビ

TLX-LED240BV3

取扱説明書

この度は**TruLuX**製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

目 次

はじめに 1
安全上のご注意 2
移動、設置 2
電源コード・プラグ 4
乾電池 4
廃棄 4
使用上のご注意・お手入れについて 5
付属品 8
各部の名前 9
本体操作部 9
本体接続部 10
リモコン 12
デジタル放送について 14
デジタル放送の特徴 14
本機で視聴可能なデジタル放送の種類 15
デジタル放送を視聴するための準備 15
機器の準備をする 16
設置のしかた 17
設置の手順 17
B-CASカードを入れる 18
リモコンについて 19
アンテナの接続 20
単独での接続 20
マンションなどの共聴システムでの接続 22
他の機器との接続 23
DVDプレーヤーなどを接続する 23
パソコンを接続する 25
AVアンプなどを接続する 25
ヘッドホンを接続する 26
電源コードの接続 27
接続する 27
電源に関するご注意 27
テレビを見る 28
電源と音量 29
テレビを見るための準備 30
デジタル放送を見るための準備 30
チャンネルを選ぶ 31
電子番組表を使う 33
映像と音の操作 35
デジタル放送 35
一歩進んだ使いかた 37

デジタルメニューを使う 38
デジタルメニューの操作 38
選局する 40
番組を探す 42
見るだけ予約 48
情報を見る 53
機器設定 54
設定メニューを使う 61
設定メニューについて 61
画像 61
音声 63
設定画面 64
オンタイマー 65
パソコン 66
つないだ機器を使う 68
つないだ機器の映像を見る 68
つないだ機器を通して音声を聞く 70
その他の情報 71
故障かな？と思ったら 72
お問い合わせの前に 72
原因と対策 73
用語の解説 78
主な仕様 81
タイミング表 82
寸法図 83

はじめに

この章では、本機をご利用いただく上での注意事項や付属品の説明など、最初に知っておいていただきたい内容を記載しています。

安全上のご注意 2

使用上のご注意・お手入れについて 5

付属品 8

各部の名前 9

デジタル放送について 14

安全上のご注意

ご使用の前に本書、特に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しく安全に使用してください。

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産の損害を未然に防ぐための表示です。危害や損害の内容や程度に応じて、表示を以下のように区分しています。内容をよく理解していただいてから本文をお読みいただき、記載事項をお守りください。

警告 この内容をお守りいただかないと、人が死亡や大けがに至るような、重大な事故が起こる可能性があります。

注意 この内容をお守りいただかないと、人のけがや財産の損害をまねくことがあります。

移動、設置

- 本品にある通気口を塞がないで下さい。通気の良い場所に設置して下さい。
- 本品を湿気または埃が多いところ、ラジエター、ストーブなどの熱源、および他の熱を発生する設備(アンプを含む)から離れた場所に設置してください。
- 分極タイプと接地タイプの差込みプラグそれぞれの使用法に必ず従うようにします。分極タイプは大きさが異なる2枚の金属片で構成されたもので、接地タイプは2枚の金属片と共に、接地用の突起がさらに設けられているものです。 同梱の差込みプラグがご使用の差込み口に合わない場合、差込み口の取り替えが必要ですので、専門業者に取替え作業を依頼してください。
- メーカー推奨のアクセサリーや付属品のみ使用して下さい。
- メーカー推奨のまたは付属のカート、架台、 三脚、ブラケット、テーブルなどのみ利用するようにして下さい。特にカートで本品を移動する場合は、転倒などのためにけがしないように配慮する必要があります。
- 雷が鳴り出した場合や長時間使用しない場合は、差込み口からプラグを抜き取って下さい。
- 本品は家庭娯楽用向けに設計、製造されたものですので、工業向けのご利用は避けて下さい。
- 周囲に間隔を空けないで設置すると、通気孔がふさがって内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。下記以上の間隔を空けて、熱がこもらないように設置してください。
  上部:30 cm
  左右:10 cm
  背面:6 cm
- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店ご依頼ください。

- 水がある場所での本品の使用は避けて下さい。
- 本品の掃除は、乾いた柔らかい布で行うようにします。液体性、アルコール性、エアゾール性のクリニーング剤を吹き付けたりしないで下さい。
- 絶対にバックカバーを外さないで下さい。本品には、使用者による点検または交換を要する部品はありません。
- 点検や部品の交換は専門業者に委託してください。具体的に、電源サプライのケーブルまたは差込みプラグが損傷した場合、水などの液体が本品内部に流れ込んだ場合、物が本品に落ちた場合、本品が雨または湿気でぬれた場合、正常に作動しない場合、本品を落とした場合などでは、修理に出してください。
- 水などの液体が流れる場所やそれらの液体にかかる恐れが場所への取り付けは避けて下さい。また、液体が入っている容器を本品の上に置かないで下さい。
- 電撃危険マークや関連の警告記号は本品のバックパネルに付いていますので、それらに記載されている内容に従うようにして下さい。
- ファンの通気孔や通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 火災・感電の原因となることがあります。
- ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。
- 周囲の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を強く刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと、災害時等に避難が遅れてしまうなどの危険があります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量でお聞きください。

電源コード・プラグ

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

- 電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。
- 電源線、特にプラグや接続部の部分が、踏みつけられたり、挟まれたりするような場所への配置は避けてください。
- 電源線を上から重いもので押さえつけたり、通路に近いところに設置したりしないで下さい。この場合、差込み口の近くにて使用するように心掛けて下さい。
- 電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池

- 間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。
- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

廃棄

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。

使用上のご注意・お手入れについて

液晶画面について

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。屋外や窓際には置かないでください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒いところでご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元にもどります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

輝点・滅点について

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

メモリーに保存されるデータに関するご注意

- 本機のメモリーには、各種の機能設定データや放送局からのメール、番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄、譲渡などする場合には、上記のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復は致しません。予めご了承ください。

スクリーン画面のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。また画面の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その販売会社にご確認下さい。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり塗装がはげたりすることがあります。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりすると、映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げ店にご相談ください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

長時間ご使用にならないとき

- 長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

B-CASカードは必要なときだけ抜き差ししてください

- 必要以外に抜き差しすると、故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようにご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないように挿入してください。

結露について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

取り扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れることがあります。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

使用環境について

- 本機を冷えきった状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

リモコンの取り扱いについて

- 落としたり、踏みつけたり、液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

映像や音声の遅れについて

- テレビ放送、外部入力のソースによっては、映像や音声に若干の遅れが生じる場合があります。映像、音声でリズムを取るテレビゲームやカラオケ機器によっては、違和感を感じる場合がありますが、故障ではありません。予めご了承ください。

付属品

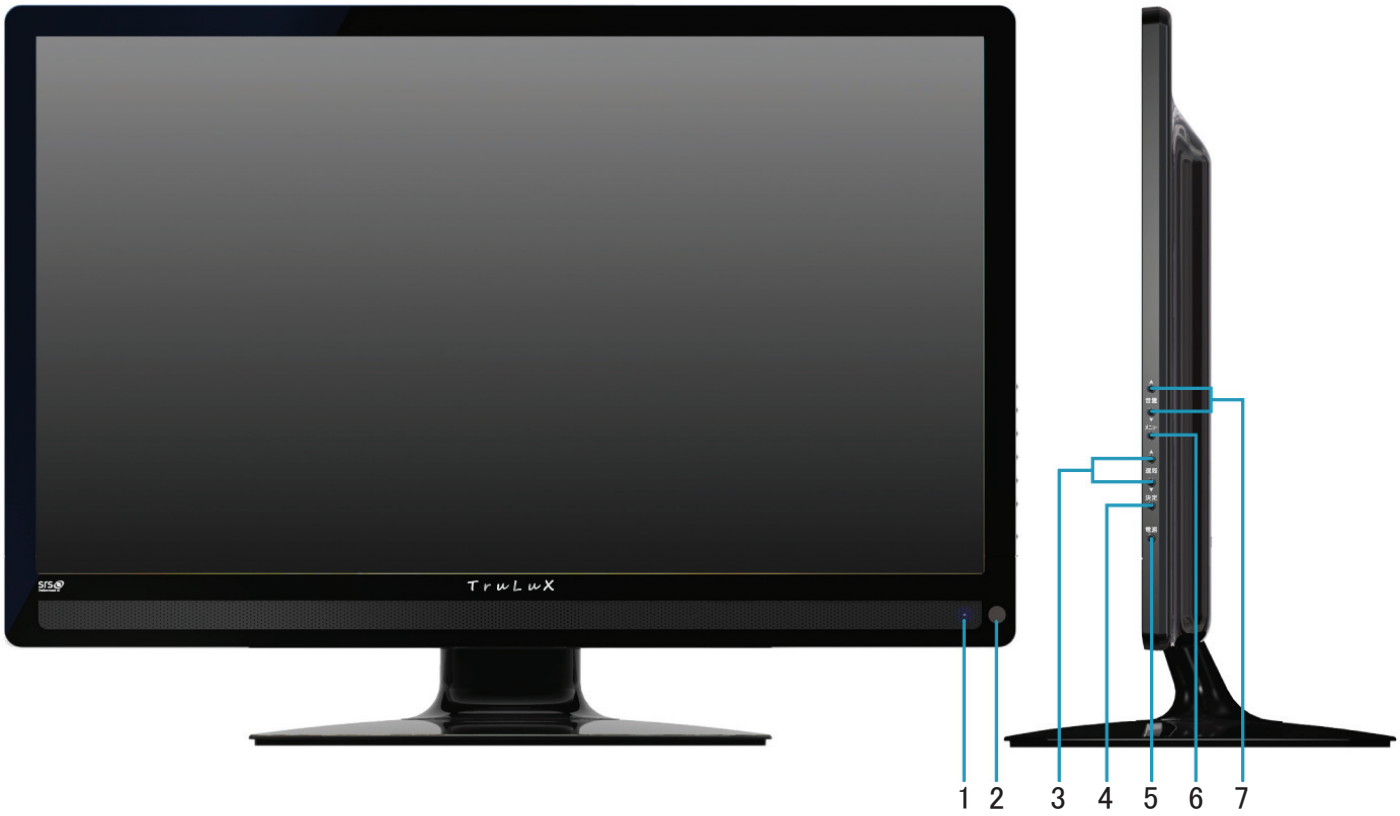
箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

液晶テレビ	取扱説明書	保証書
リモコン	リモコン用単4電池　2本	電源コード
アンテナケーブル	B-CAS カバー	B-CAS カバー用ネジ
ケーブルホルダー	B-CASカード	

miniB-CAS
BS・CS・地上共用
(株)B-CAS
TEL 0570-000-250
所有権は当社に属します

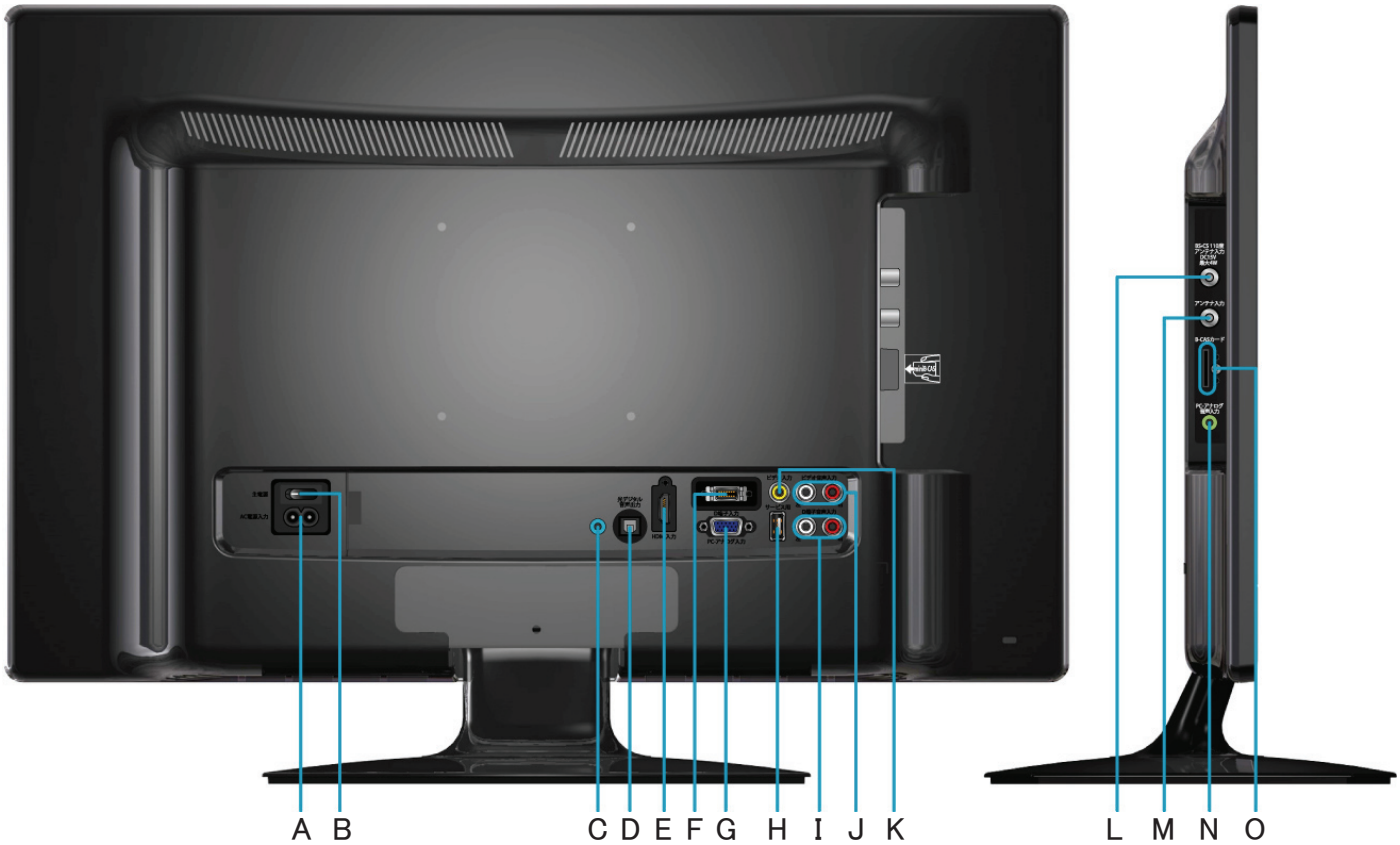
各部の名前

本体操作部



1	**電源LEDインジケータ** 赤点灯：スタンバイ（リモコンで電源オフ）状態、ブルー点灯：電源オン状態。
2	**リモコン受光部** リモコンの信号を受信します。
3	**チャンネル +/−** チャンネルの順送りによる選局を行います。 また設定メニューから項目を選択するのにも使います。
4	**入力切換** 入力信号の選択を行います。 一度押すと入力選択画面が表示され、さらに押すごとに入力が切り換わります。
5	**電源スイッチ** 待機状態（電源ランプ:赤）と電源オン（電源ランプ:青）の切り換えを行います。
6	**メニュー** 設定メニューを表示します。
7	**ボリューム +/−** スピーカーからの音量調整を行います。 また設定メニューからの調整にも使います。

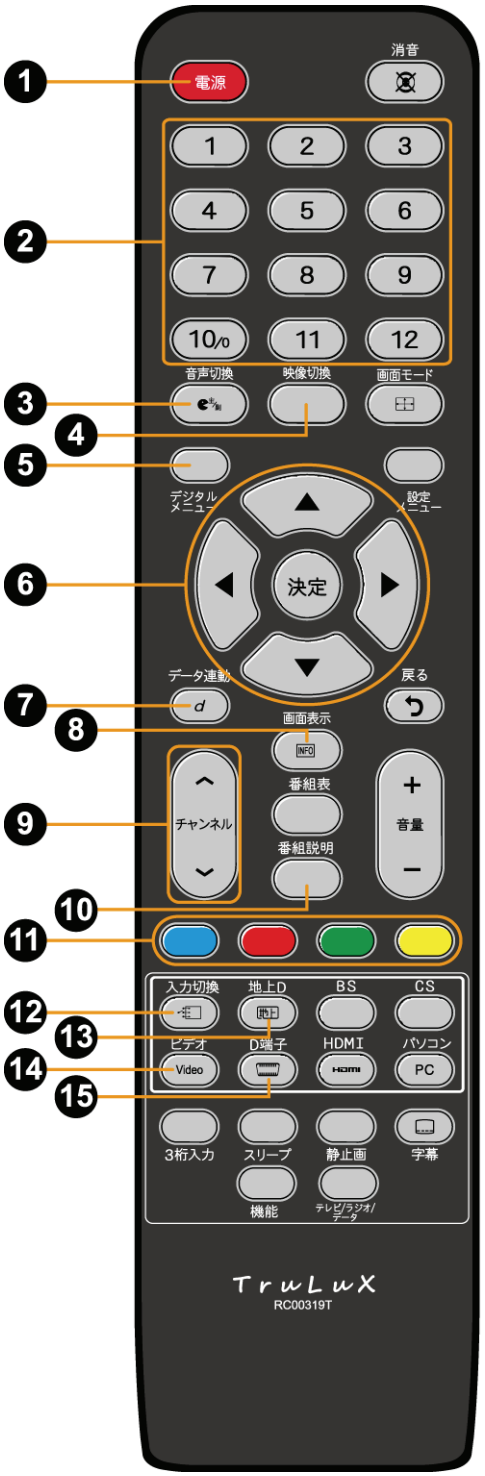
本体接続部



A	**主電源スイッチ** AC電源切り替え(必ずオンに)。
B	**電源入力** 付属のAC(電源)ケーブル(電源コード)を接続します。
C	**ヘッドホン** 別売のヘッドホンを接続します。
D	**光デジタル音声出力** 市販の光ケーブルを使用して対応機器を接続します。 (AAC 5.1CH 出力のみ)
E	**HDMI入力** 市販のHDMIケーブルを使用して対応機器を接続します。
F	**D端子入力(映像)** 市販のDケーブルを使用して対応機器を接続します。
G	**PC-アナログ入力(映像)** 市販のVGAケーブルを使用してパソコンを接続します。
H	**USB端子(サービス用)** サービスセンター検査用。
I	**D端子入力(音声)** 市販の音声ケーブルを使用して対応機器を接続します。

J	**ビデオ入力（音声）** 市販の音声ケーブルを使用して対応機器を接続します。
K	**ビデオ入力** 市販の映像ケーブルを使用して対応機器を接続します。
L	**BS･110度CSアンテナ入力** 市販のアンテナケーブルを使用してBS･110度CS用アンテナを接続します。
M	**地上デジタルアンテナ入力** 付属のアンテナケーブルを使用して地上デジタル用アンテナを接続します。
N	**PC−アナログ入力（音声）** 市販の音声ケーブル（ミニステレオ）を使用してパソコンを接続します。
O	**B−CASカード（挿入口）** 付属のB−CASカードを挿入します。

リモコン



1. 電源
電源のオン・オフをします。

2. 1-12 数字ボタン
チャンネルの直接選局などの数字入力に使用します。

3. 音声切換
多重音声や多言語放送で押すことにより、お気に入りの音声または言語を選択することができます。

4. 映像切換
デジタル放送で複数の映像があるときにこれを切り換えます。

5. デジタルメニュー
デジタルメニューの内容を表示します。

6. ▲, ▼, ◀, ▶, 決定
▲, ▼, ◀, ▶ :オン・スクリーン・ディスプレー(OSD)機能の検索および調整をします。
決定:お好みの設定を確定します。

7. データ連動
データ放送画面に切り換えます。

8. 画面表示
受信チャンネルなどの情報表示のしかたを切り換えます。
※地上デジタル放送の場合、番組情報・チャンネル番号/映像モード/タイマー時間が表示されますが、デジタル信号の番組情報・チャンネル番号は約5秒表示されて消えます。もう一度このボタンを押すと、映像モード/タイマー時間の表示は消えて、もう一度、番組情報・チャンネル番号が表示されます。(約5秒間)

9. チャンネル▲/▼
ボタンを押して、チャンネルを順送りに選局します。

10. 番組説明
現在視聴している番組の詳細情報を表示します。

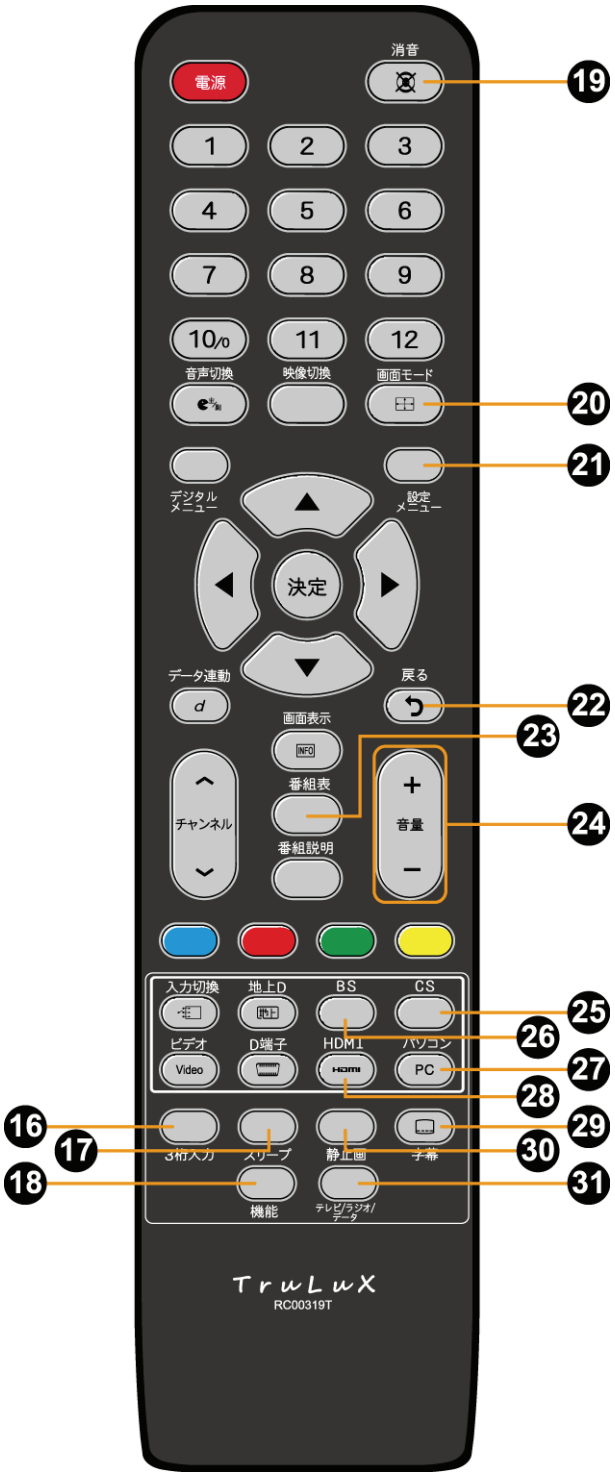
11. [青]/[赤]/[緑]/[黄]
デジタル放送中受信中の双方向サービスでの項目選択や、デジタルメニュー中の操作選択をします。

12. 入力切換
入力モードを切り替えます。

13. 地上D
地上デジタル放送(ISDB-T)に切り替えます。

14. ビデオ
ビデオに切り替えます。

15. D 端子
D 端子に切り替えます。



16. 3桁入力
デジタル放送またはCATV チャンネル受信時、チャンネル番号を直接入力して選局するとき使用します。

17. スリープ
オフタイマーの設定をします。

18. 機能
機能メニューを表示します。

19. 消音
消音モードのオン・オフをします。

20. 画面モード
画面モードを選択します。

21. 設定メニュー
デジタル受信設定以外の設定メニューを開きます。

22. 戻る
オン・スクリーン・ディスプレー（OSD）メニューで前の画面に戻ります。

23. 番組表
EPG番組表を表示します。

24. 音量+/−
音量の上げ/下げをします。

25. CS 1/2
110度CSデジタル放送を受信します。

26. BS
BSデジタル放送を受信します。

27. パソコン
パソコンに切り替えます。

28. HDMI 端子
HDMI 端子に切り替えます。

29. 字幕
字幕サービス付きのデジタル放送番組で、字幕表示を無効または有効にします。

30. 静止画
ボタンを押した時点の入力映像を静止して表示します。

31. テレビ/ラジオ/データ
デジタル放送のサービス種別を選択します。

デジタル放送について

本機では3種類のデジタル放送を視聴することができます。デジタル放送では、以下のようなアナログ放送には無い機能を楽しむことができます。

デジタル放送の特徴

高画質・高品質

デジタル放送では、従来のアナログ放送でみられるようなゴースト(映像の二重化)やスノーノイズ(雪が舞っているようなちらつき)といった映像の乱れが起こりません。なかでもデジタルハイビジョン放送では、アナログの通常放送と比較して走査線数(ブラウン管方式のテレビの映像の細密度を示す指数)で約2倍、解像度にして約8倍の高精細映像を楽しむことができます。音声についても、音質が劣化しにくい方式で伝送しているため、高音質な音声を再現できます。

データ放送

テレビ番組と連動したデータ放送や、天気予報や地域情報などの独立したデータ放送の受信ができます。

字幕放送

デジタル放送の番組のせりふなどの音声を、文字にして画面に表示させることができます。

双方向サービス

テレビ上でのショッピングやリクエスト、クイズ番組の解答など、視聴者として番組に参加することができます。

電子番組表(EPG)

デジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情報が含まれています。これを利用して画面上に番組表を表示することができます。
したがって、最初にご使用になる時、設定初期化(☞59ページ)後、あるいは電源を長期間(一週間以上)外していた場合などには、表示されません。なお、電源を接続してあれば、深夜に自動的に受信して最新の番組表に更新します。

マルチ(複数)チャンネル

デジタル放送では大量のデータを送信ができるため、一つの放送局が複数の番組を放送することができます。番組のバリエーションが増え、選択の幅が広がります。

文字スーパー

地域情報や速報など、番組に連動しない文字情報(文字スーパー)を画面に表示することができます。

臨時編成サービス

スポーツ中継が延長になった場合などに、別チャンネルで予定されていた番組を放送することができます。(イベントリレー)

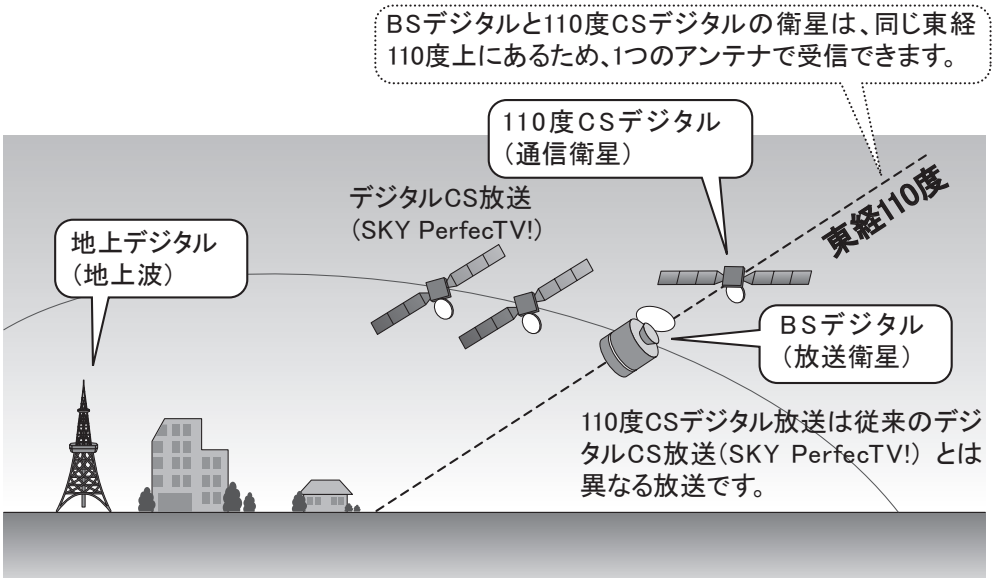
マルチビューサービス

放送中の番組を、別のカメラから見た視点で見ることができます。

※　上記のサービスや機能は、全てのデジタル放送の種類や放送局、番組で行っているというものではありません。

本機で視聴可能なデジタル放送の種類

本機で視聴できるデジタル放送は、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの3種類のみです。
SKY PerfecTV! など、上記を除くデジタルCS放送には対応しておりません。



デジタル放送を視聴するための準備

アンテナ等について

デジタル放送を視聴するためには、受信用のアンテナの用意をする必要があります。また、BS・110度CSデジタル放送を受信するには、放送局やプラットホームに受信申し込みをする必要があります。
これらの準備の仕方は、本機をご使用になる環境によってことなります。詳しくはお買い上げ店等でご確認ください。

お知らせ

- 地上デジタル放送の受信には、UHFアンテナを使用します。現在お使いのアンテナがUHF対応のものであれば、基本的にそのままご使用いただけますが、場合によっては調整やブースターの追加が必要になることもあります。詳しくは販売店等にお問い合わせください。
- 本機は地上デジタル専用のアンテナ入力端子を備えています。UHFアンテナを、地上デジタル専用に使用することもできます。
- 衛星放送用にはBS・110度 CS共用アンテナをご使用ください。アンテナ線 /ブースター/分配器等は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応しているものをご使用ください。その他のものを使用すると、映像が映らない場合があります。

機器の準備をする

この章では、本機や本機に接続する機器の設置および設定方法についてご説明いたします。

設置のしかた 17

リモコンについて 19

アンテナの接続 20

他の機器との接続 23

電源コードの接続 27

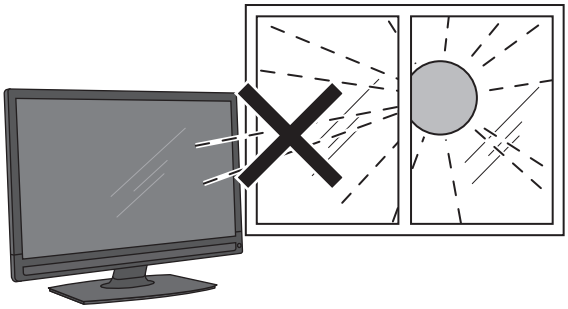
設置のしかた

本機は重量のある精密機器です。運搬や設置を行う際は、落下や転倒に十分注意してください。また、動作が安定する場所に設置するようにしてください。設置はできるだけ専門業者に依頼してください。

設置の手順

1. 置く場所を決める

- 直射日光が当たらず、気温が安定している場所を選んでください。
- グラつきなどがなく、きちんと固定できる場所を選んでください。

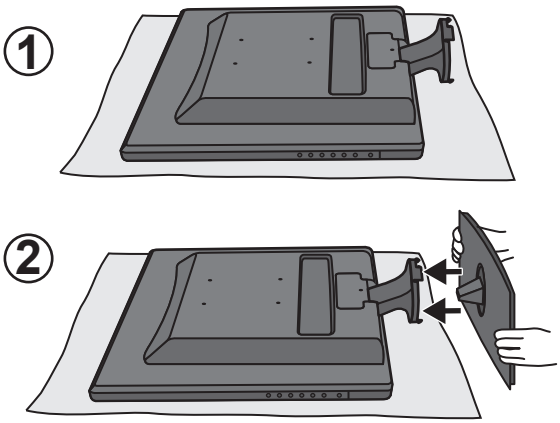


2. 台座をつける

- 画面を傷つけないように毛布や保護シートを敷き、画面を下にして本機を置く。
- 台座を本機のツメと台座の穴を合わせて差し込み、カチッと音がするまで押し付ける。

ご注意

- 液晶パネル部に手を触れないようにご注意ください。



3. 配置する

ご注意

- 本機が転倒するとお客様の怪我や本機の故障につながります。市販の転倒防止器具で転倒防止策を行ってください。

通風口について

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しの悪い場所（棚や押入れの中など）や、絨毯や布団の上に置かないでください。また布をかけたりしないでください。定期的に掃除機で通風孔にたまったごみを除去してください。

B-CASカードを入れる

B-CASカードについて

- 地上デジタル放送（BSデジタル放送/110度CSデジタル放送）が視聴制限に使用しているのがB-CASカードです。
- デジタル放送をお楽しみいただくためには、B-CASカードを、本機に挿入していただくことが必要です。

お知らせ

- スカパー！110、WOWOWなどの有料サービスをご利用のされる場合は、別途契約が必要です。
- B-CASカードに関するお問い合わせは、カードの裏面記載の（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンターまでお願いいたします。
（TEL：0570-000-250）

B-CASカードの入れかた

- 本機の電源を切る。
- 同梱の「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」の内容を読み、了解していただいた上で、台紙からB-CASカードをはがす。
- B-CASカードを挿入する。
- 同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに記入し、投函する。

お知らせ

- B-CASカードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。
- B-CASカードの盗難等にご注意ください。他人がお客様のカードを使用して有料番組を視聴した場合も、視聴料はお客様の口座に請求されます。
- B-CASカードは（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから貸与されているものです。本機を廃棄なさる場合は同社にご返却ください。また本機を他の人に譲渡なさる場合は、新しい所有者の名義に変更してください。

取扱い上のご注意

- B-CASカードを折り曲げたり、傷つけたりしないでください。破損等によるB-CASカードの再発行は有料です。
- B-CASカードの金属部（集積回路）には触れないでください。
- B-CASカードの抜き差しは、必要な場合を除いて行わないようにしてください。

リモコンについて

電池の入れ方

- バッテリカバーを開ける。
- +極、一極の向きを確認し、正しい方向で単4電池2本を入れる。
- カバーがカチッというまで押して閉める。

ご注意

乾電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂することがあります。特に以下の点に注意してお使いください。

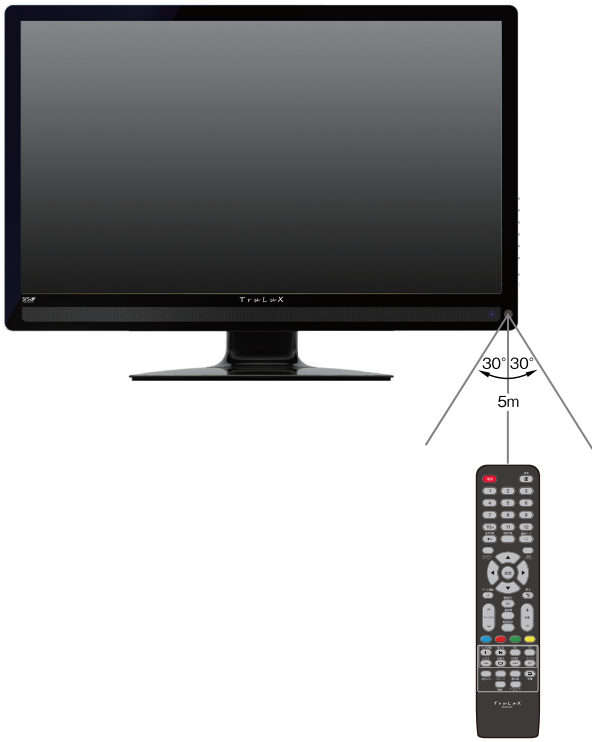
- 違う種類の乾電池を混ぜて使用しない。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。
- 使えなくなった乾電池はすぐに取り出す。
- 液漏れした乾電池は使用しない。
  漏れた液に触れると肌が荒れることがあります。
  万一、液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

お知らせ

- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- リモコンを長く使わないときは電池を取り出しておいてください。
- 乾電池を廃棄するときはお住まいの自治体で定める廃棄方法に従ってください。

操作のしかた

本体のリモコン受光部に向けて操作してください。



ご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高い所に置いたりしないでください。
- リモコンは直射日光の当たる場所に取り付けたり、放置したりしないでください。熱により変形することがあります。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなることがあります。その場合は照明または本体の向きを変えるか、リモコン受光部にリモコンを近づけて操作してください。
- リモコンを操作してもテレビが動作しない場合は、新しい乾電池と交換してください。

アンテナの接続

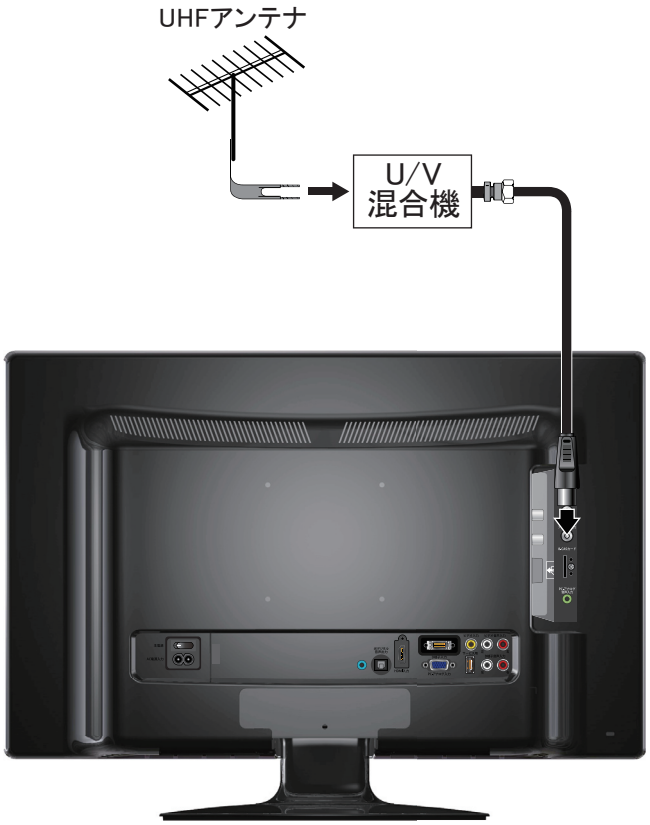
ご注意

- アンテナの取り付け・配線は、必ず専門業者にご依頼ください。
- ケーブルテレビをご利用の場合、ケーブル会社からの再送信の方式によって接続のしかたが異なります。詳しくは、ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

単独での接続

アンテナを接続する

- 地上デジタル放送の受信には、UHFアンテナを使用します。場合によっては角度等の調整やブースターの追加が必要になることもあります。詳しくは販売店等にお問い合わせください。
- 現在UHF放送を受信していない場合、地上デジタル放送専用のアンテナ設置をお勧めします。
- 地上デジタル用のアンテナを地上デジタルアンテナ入力端子に接続するときは、アンテナケーブルを使用してください。
- ご自宅のアンテナ線がフィーダー線の場合は、円筒形の同軸ケーブルに変換するため、アンテナ整合器(別売)をお使いください。
- 受信設定メニューを使用して受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。お住まいの地域・地形によって受信レベルは異なりますが、目安としては50以上できれいに受信できます。受信レベルが上がらない場合は、市販のブースターをつけることをお勧めします。



BS・110度CS共用アンテナを接続する

市販のBS・110度 CSアンテナケーブルを、BS・110度 CSデジタルアンテナ入力端子とBS・110度 CSアンテナに直接接続します。

- BS・110度CSアンテナには電源が必要です。初期設定では、本機からアンテナに電源を供給する設定になっています(「アンテナ電源の設定を表示する(☞55ページ)」をご参照ください)。
- アンテナはBS・110度 CS共用アンテナをご使用ください。アンテナ線 /ブースター/分配器等は、110度 CS帯域(2150MHz)まで対応しているものをご使用ください。その他のものを使用すると、映像が映らない場合があります。 これまでご使用になっていたBSアンテナでも、性能や方向調整が十分な場合はBSデジタル放送を受信できますが、110度CSデジタル放送の受信にはBS・110度CS共用アンテナが必要です。
- スカイパーフェクトTV！用のアンテナでは110度CSデジタル放送は受信できません。
- BS・110度 CS共用アンテナの取り付けについては、アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- BS・110度 CSデジタルアンテナ入力端子にVHF/UHFのアンテナ線を接続しないでください。故障の原因となります。
- 受信設定メニュー(☞54ページ)を使用して受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。45以上あればきれいに受信できます。

お知らせ

- サテライト分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプを必ずお使いください。
  また、本機の電源を待機状態・オフ状態の時または地上デジタル放送受信中は本機からはアンテナ電源は供給されません。他のBS機器をお使いになる場合は、当該機器より電源を供給してください。
  なお、再度BS・110度CS放送に切り換えるとアンテナ電源は再びオンになります。アナログテレビや他の入力(ビデオ入力など)に切り換えた場合はアンテナ電源は切れません。

マンションなどの共聴システムでの接続

- まずはお住まいのマンションなどが、地上デジタルやBS・110度CSデジタルにどのように対応しているかを、マンション管理会社などにご確認ください。
- BS・110度 CSと VHF/UHFが混在されている場合は、市販の BS/UV分波器を使用して接続します。分波器は 110度 CS帯域（2150MHz）まで対応している金属シールドタイプをお選びください。

他の機器との接続

本機をDVDプレーヤー、HDDレコーダー、ビデオカメラ、ゲーム機、パソコンなどと接続してモニターとして使用することができます。

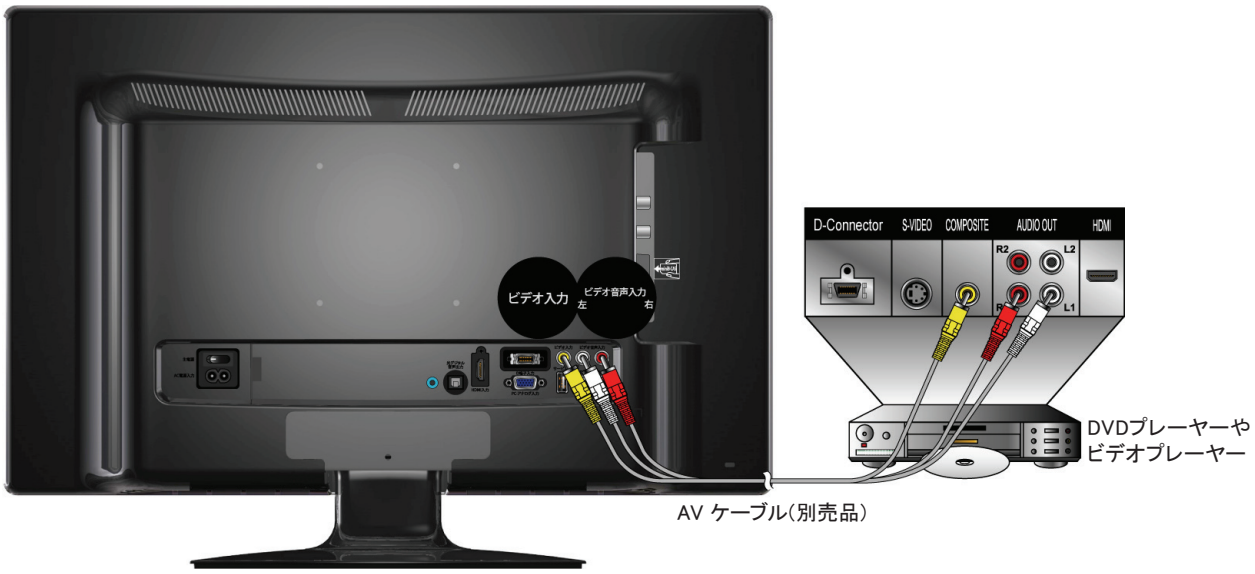
ご注意

- 接続の前に、本機や接続する機器の電源をお切りください。
- 接続ケーブルの抜き差しは、ケーブルでなくプラグを持ってしっかりと行ってください。
- ノイズが出る場合は、機器間の距離が十分にとれるように配置してください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

DVDプレーヤーなどを接続する

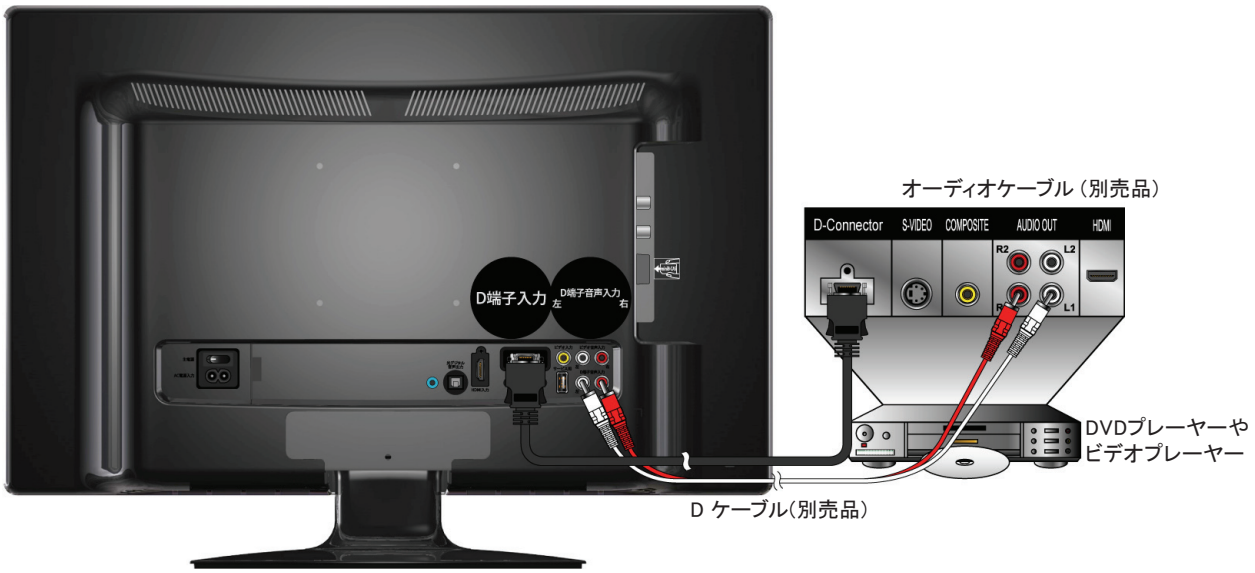
映像入力端子に接続する

黄、赤、白のAVケーブルでVCRなどのAV出力端子と、本機のAV入力端子を接続します。プラグと端子の色をそれぞれ合わせるようにしてください。



D端子に接続する

D端子出力のある機器とDケーブルで接続します。音声はAVケーブルでD端子用の音声入力端子に接続します。

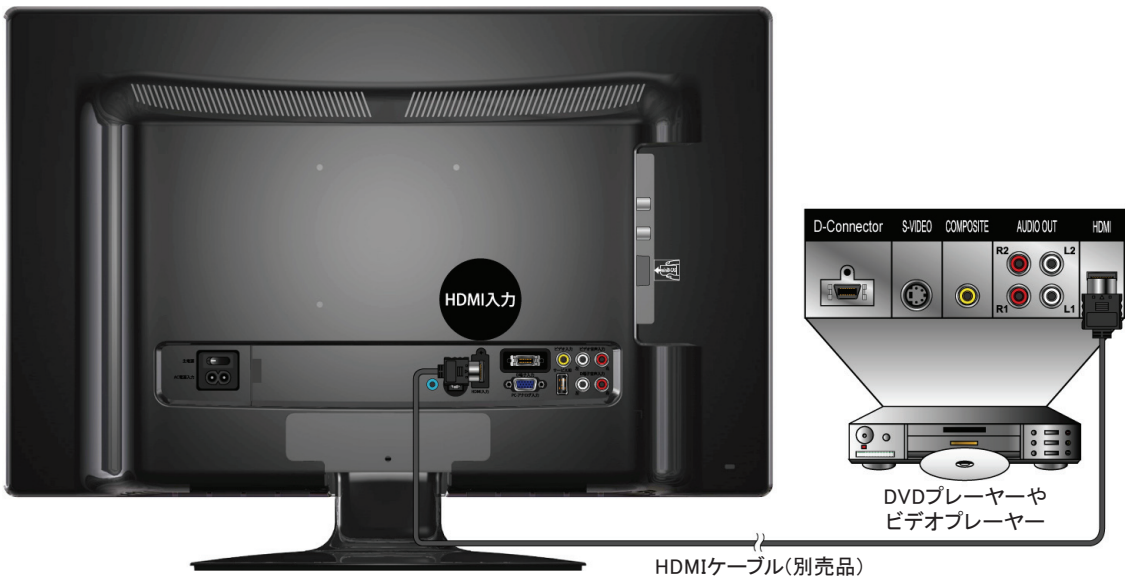


お知らせ

- 本機のD端子はD5規格です。これはD端子規格の中でD1、D2、D3、D4およびD5入力信号を自動的に判別して表示する機能を持った端子です。この場合、音声出力は市販のミニステレオ・ピンジャック変換ケーブルを使用して、本機のD端子に接続してください。
- 接続機器によっては、出力をD端子に設定しなければ信号を出力しないものがあります。映像が表示されない場合は、接続する機器の取扱説明書をご覧頂き、設定してください。

HDMI端子に接続する

市販のHDMIケーブルを使い、HDDレコーダー、デジタルチューナーなどのHDMI出力と本機のHDMIをつないでください。

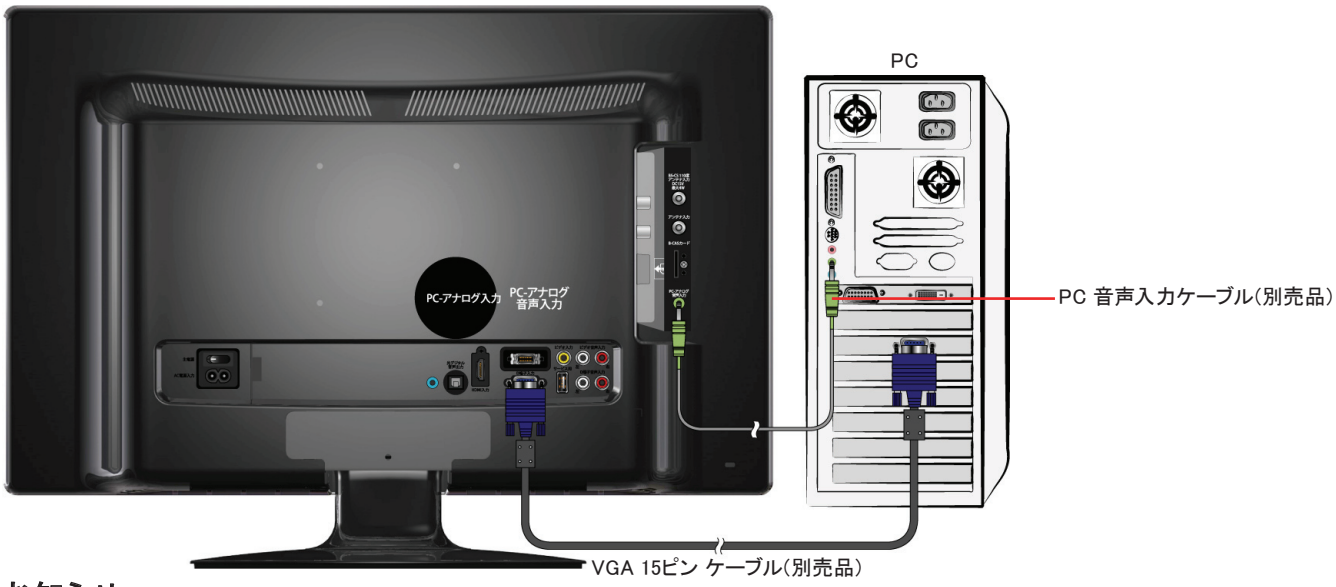


お知らせ

- パソコンなどのDVI出力のある機器とも、DVI-HDMI変換ケーブルを使うことで接続することができます。 この場合は接続する機器の音声出力を、パソコン接続と同様（☞25ページ参照）**PC音声入力ケーブル**を使用して接続してください。
- 映像、音声が表示、出力されない場合は、接続する機器の説明書などで出力機器の設定をご確認ください。

パソコンを接続する

VGAケーブルでパソコンのVGA出力と、本機のVGA入力を接続します。音声は、音声ケーブル(ミニステレオ)を接続します。

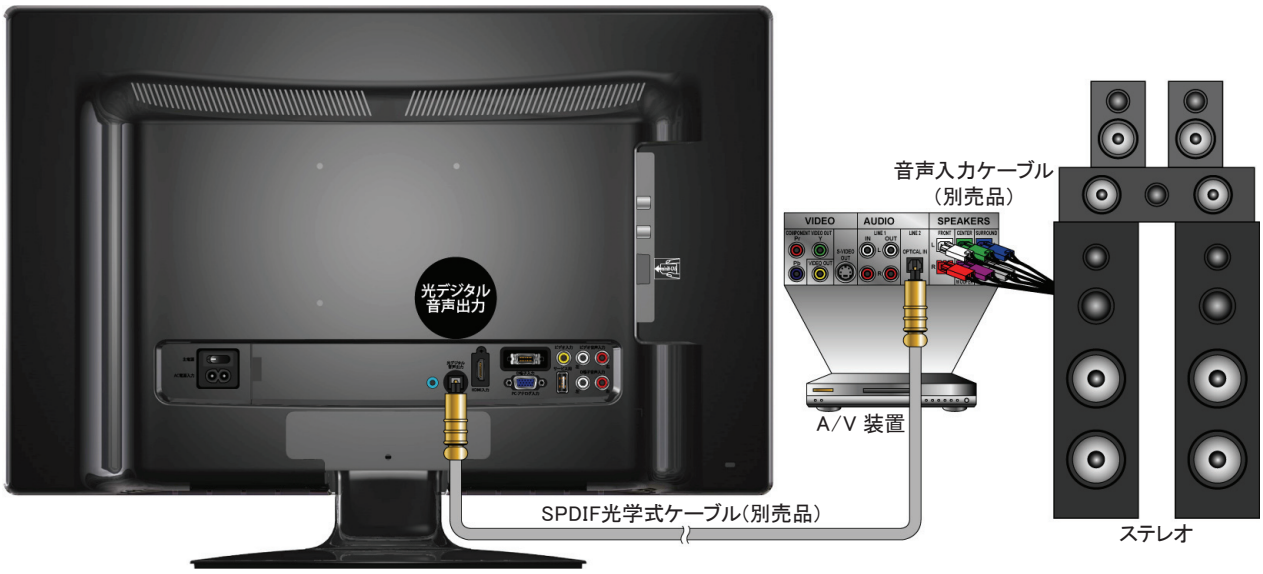


お知らせ

- 全てのパソコンでの動作検証は行っておりません。(Macintoshなど、Windows 2000/XP以外の動作は検証しておりません。)また、パソコンのビデオカードなどによっては、上記のフォーマットでも表示できない場合があります。

AVアンプなどを接続する

市販の光デジタルケーブルでAVアンプなどの光デジタル音声入力と、本機の光デジタル音声出力を接続します。光デジタル接続を使用することにより、AVアンプなどから音声を出力することができます。5.1chの、臨場感のある高音質な音声を楽しむことができます。



お知らせ

- この端子からはデジタル放送(地上)受信時のみ出力されます。
- AAC 5.1CH 出力のみ。

ヘッドホンを接続する

市販のヘッドホンのプラグを、本機のヘッドホンジャックに接続します。

お知らせ

- ヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーから音が出なくなります。

ご注意

- ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を強く刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと、災害時等に避難が遅れてしまうなどの危険があります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量でお聞きください。

電源コードの接続

接続する

全ての接続が終わったら、最後に付属のAC（電源）ケーブル（電源コード）を接続してください。
接続の際は、まず壁側のプラグを接続してから本機側のプラグを接続してください。

電源に関するご注意

- 電源コードは必ず最後に接続してください。
- 付属のAC（電源）ケーブル（電源コード）は、本機専用です。他の機器では使用しないでください。また、本機に他のAC（電源）ケーブルを使用しないでください。
- 電源プラグは、抜き差しがしやすい位置の、壁のコンセントに直接差すようにしてください。
- 接続後は、電源プラグをコンセントに差したままご使用ください。
- 使用中に電源プラグを抜いたり、電源を突然遮断しないようにしてください。設定等が無効になってしまうことがあります。

テレビを見る

この章では、テレビを見るための基本的な使いかたについて説明しています。

電源と音量 29

テレビを見るための準備 30

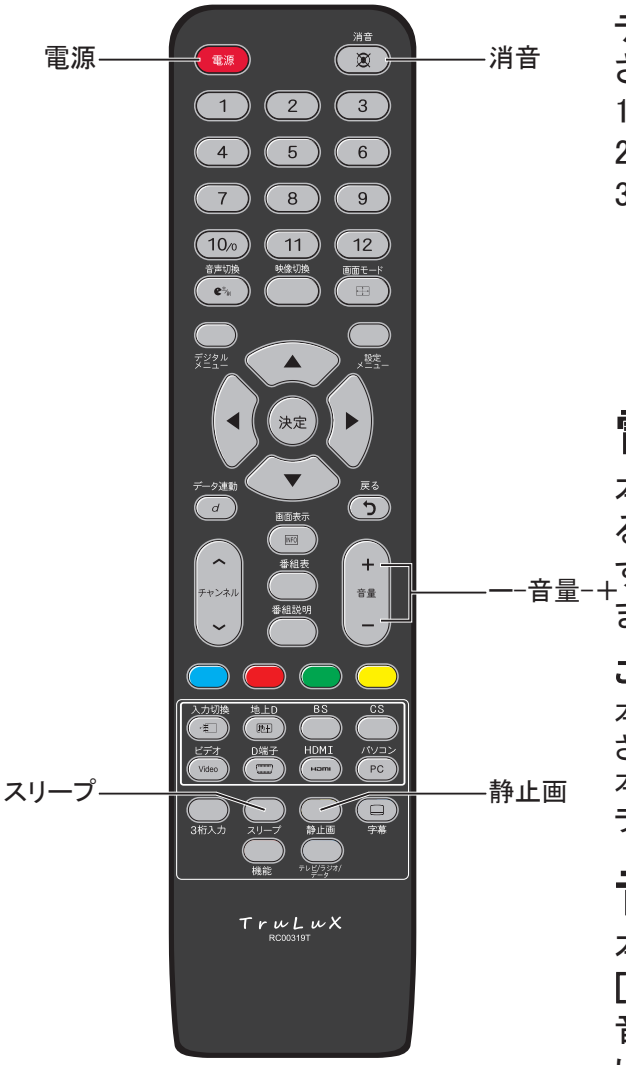
チャンネルを選ぶ..... 31

電子番組表を使う..... 33

映像と音の操作 35

電源と音量

入力モードの選択、チャンネル選択、音量の調整などの基本的な操作は、同梱のリモコンまたはテレビ本体の右側面部にあるパネルボタンで行うことができます。



電源を入れるまでに

テレビを使い始める前に以下の事項を確認してください。

1. 外部機器が正しく接続されていること。
2. 電源コードが接続されていること。
3. 本体の背面に設置されている電源メインスイッチがオンに設定されていること。オンに設定されると、電源LEDインジケータが赤に点灯。また、本品を長い時間使用しない場合には、このスイッチをオフに設定することをお勧め。

電源

本体右側面部にある[**電源**]ボタンか、リモコンにある[**電源**]ボタンを押すと、テレビのオン/オフができます。オンの場合、電源LEDインジケータが青に点灯します。

ご注意

本機は電源スイッチを切っただけでは完全に電源から切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。旅行などで本機を長時間使用されないときは、コンセントを抜いて（電源ランプ:消灯）ください。

音量

本体右側面部にある[**ボリューム**]ボタンかリモコンの[**＋音量－**] ボタンで音量を調整します。
音を消すには、リモコンの**消音**ボタンを押してください。消音状態を解除するときは、もう一度消音ボタンを押すか、[**ボリューム**]/[**＋音量－**] ボタンを押してください。

スリープタイマー

[**スリープ**]ボタンを押すと、指定した時間に電源が切れるオートオフ機能を設定できます。ボタンを押すたびに、次の設定時間を選択できます。
15分間、 30分間、45分間、60分間があります。この機能を無効にしたい場合、0 分間に設定します。

静止画

[**静止画**]ボタンを押すと、押した時点の映像で画面を静止します。再度押すと元画面に戻ります。.ただし、音声はそのまま出力されます。

テレビを見るための準備

ご注意

本機を初めてご利用される場合は、下記の設定を行ってください。設定を行わないと、テレビ放送を正常に受信できないため、視聴できるはずの番組が視聴できなくなります。

デジタル放送を見るための準備

1. 条件を整える

デジタル放送を受信するには、以下の準備が必要です。詳しくは、本書の「機器の準備をする」章（☞16ページ）をご覧ください。

- 専用のアンテナを接続する
- B-CASカードの準備をする
- 必要に応じて放送会社と契約する

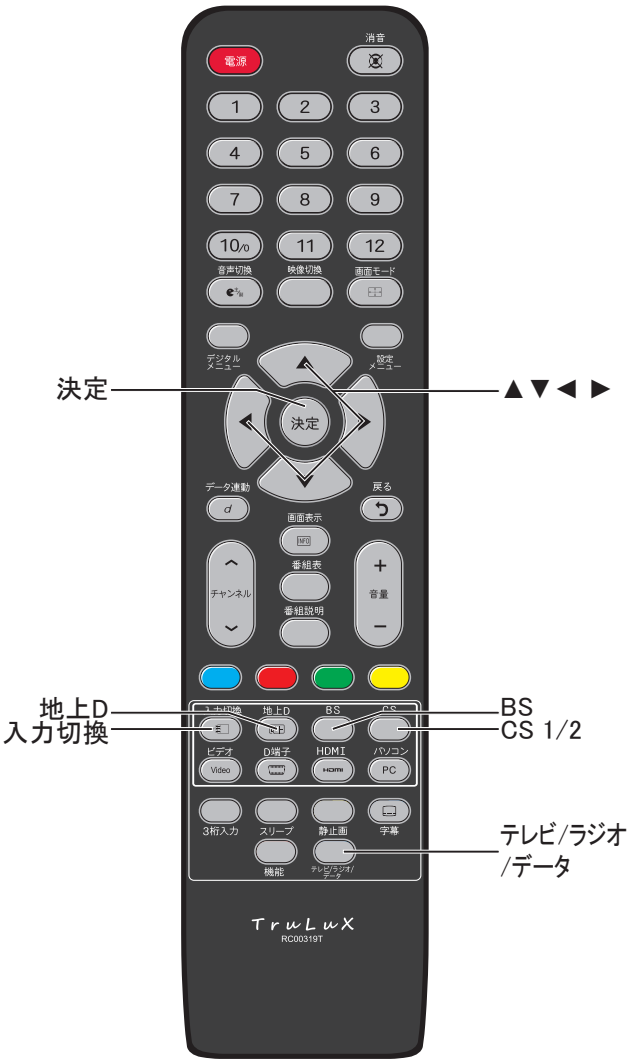
2. 本機の設定を行う

本機を初めてご利用される場合や、お客様のお住まいの地域が変わった場合は、初期設定を行う必要があります。上記の条件を整えた後、デジタルメニューの「機器設定」の項目で、「本機の詳細設定」の各設定を行ってください。（☞54ページ）

お知らせ

- BSデジタル放送・110度CSデジタル放送のチャンネルは自動的にスキャンされて記憶されます。

チャンネルを選ぶ

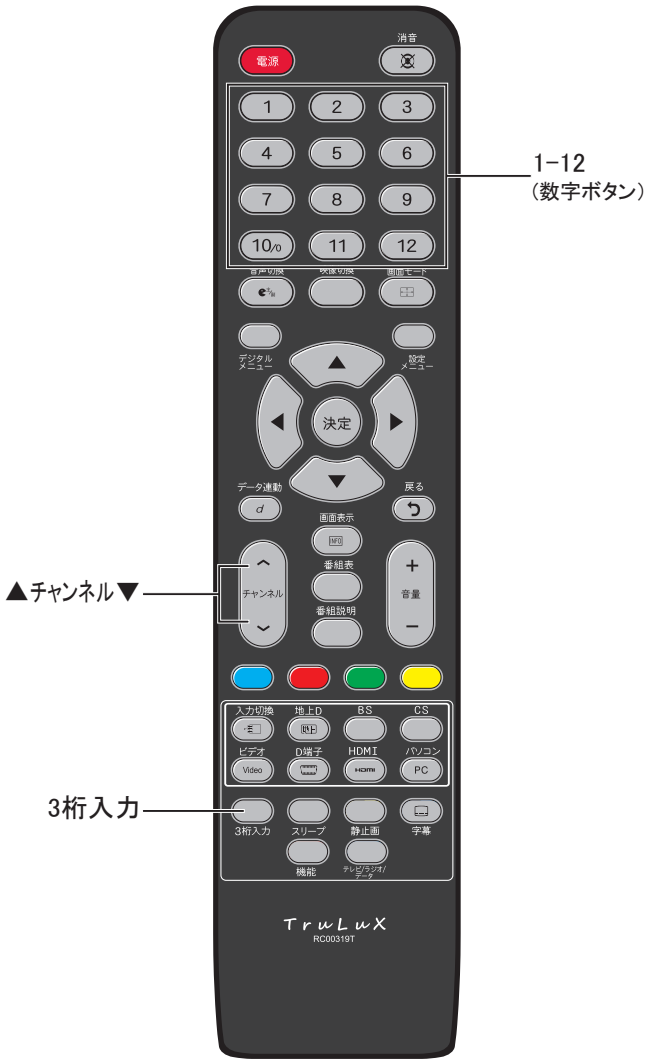


お知らせ

- チャンネルを選んでから映像が切り換わるまでに時間がかかる場合がありますが、映像信号の変換等に時間がかかるためで、故障ではありません。
- 放送局番号と物理チャンネル
  デジタル放送では1つのチャンネルで最大3つの番組を放送できます。このため、チャンネルを指定しただけではどの番組を見るのか特定できません。そこで、3桁の放送局番号によって番組を特定できるようになっています。最初の2桁が放送局を示し、最後の1桁でそのチャンネルのどの番組かを指定します。
  また、今までのUHF帯のチャンネル番号をこの放送局番号と区別するために「物理チャンネル」と呼んでいます。
  BSデジタル放送・110度CSデジタル放送では、物理チャンネルは放送が使用している周波数帯域に放送法上で定義されている番号で、本機のリモコン番号や、新聞のテレビ番組欄に出ている数字とは異なります。
  BSデジタル放送では、BS-1からBS15の奇数チャンネルに各々複数の物理チャンネルが割り当てられています。
  110度CSデジタル放送は、ND2からND24の偶数チャンネルに各々複数の物理チャンネルが割り当てられています。
  デジタル放送をご覧になる際に、通常は物理チャンネル番号が必要になることはありませんが、ごくまれに放送衛星・通信衛星の不具合により、受信する物理チャンネルを変更する必要が生じる場合もあります（「受信の設定を行う（☞54ページ）」をご参照ください）。

入力を切り換える

- **[地上D]/[BS]/[CS 1/2]**または**[入力切換]**を押して放送の種類を選ぶ
- **[入力切換]**を押すと画面左上に入力種別が表示されます。**[▲ ▼]**を押すか、**[入力切換]**を引き続き押してご覧になりたい放送種別を反転表示させ、そのまま2秒お待ちになるか[決定]または**[◀ ▶]**を押すと入力が切り換わります。
- CS放送の1と2を切り換えるにはCS放送受信中に**[CS 1/2]**を押します。
- **[テレビ/ラジオ/データ]** を押してサービス種別を選ぶ（デジタル放送のみ）



チャンネル番号で選局する（ワンタッチボタン選局）

お好みのチャンネルを数字ボタンで入力する。

チャンネル番号を入力して選局する（CATVのみ）

1. [3桁入力]を押す。
2. お好みの放送局のチャンネル番号を数字ボタンで入力する。

放送局番号で選局する（デジタル放送のみ）

1. [3桁入力]を押す。
2. お好みの放送局の放送局番号を数字ボタンで入力する。

選局ボタンで選局する

[▲チャンネル▼]を押して選局する。

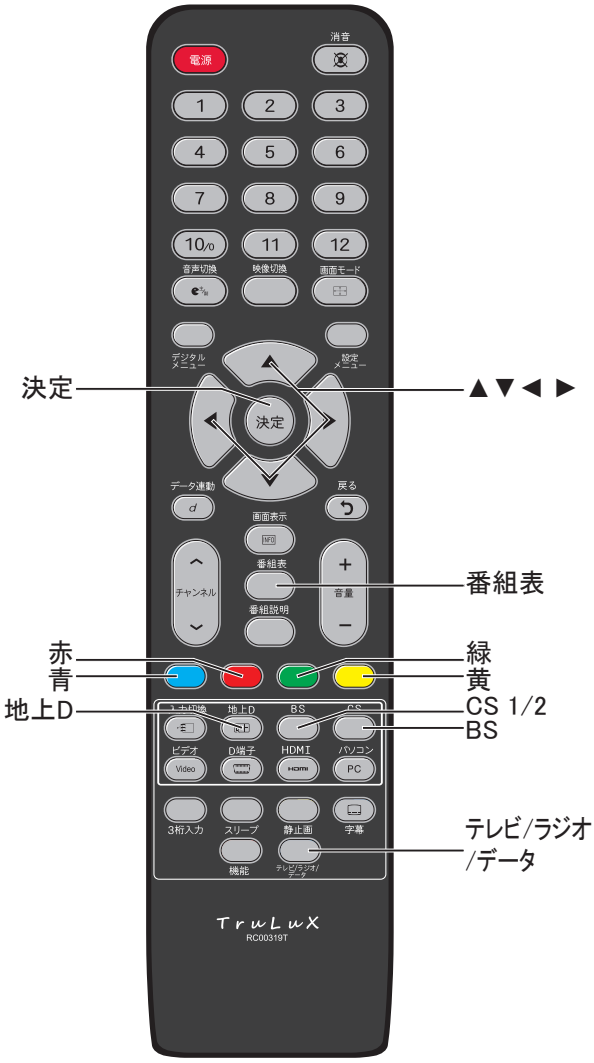
番組表から選局する（デジタル放送のみ）

（☞33ページ）

デジタルメニューから選局する（デジタル放送のみ）

（☞39ページ）

電子番組表を使う



お知らせ

- 電子番組表はデジタル放送のみの機能です。

電子番組表を表示する

電子番組表（EPG）を表示します。

1. **[番組表]**を押す。
2. **[地上 D]/[BS]/[CS 1/2]**を押して放送の種類、**[テレビ/ラジオ/データ]**を押してサービスの種別を選ぶ。

   番組表表示中には**[青]**を押すと番組説明（☞49ページ）を、**[赤]**を押すと予約画面（☞48ページ）を、**[緑]**を押すと現在表示されている日付の前日の番組表（当日以前には遡りません）を、**[黄]**を押すと現在表示されている日付の翌日の番組表（一週間先まで）を表示します。
   番組表の表示サイズは、4時間× 3チャンネルか5時間×6チャンネルに切り換えられます。「番組表の表示サイズを変更する（☞47ページ）」をご覧ください。
3. **[▲▼◀ ▶]**を押して番組を選び、**[決定]**を押す。

放送中の番組を選んだ場合

以下のメニューが表示されます。

戻る: メニューを閉じる。

見る: 選択した番組を視聴する。

番組説明: 選択した番組の説明を表示する。（☞49ページ）

これから放送されるの番組を選んだ場合

以下のメニューが表示されます。

戻る: メニューを閉じる。

番組説明: 選択した番組の説明を表示する。（☞49ページ）

見るだけ予約: 番組視聴の予約をする。（☞48ページ）

- 短いニュース番組など、番組表上では重なっている場合があります。この場合、番組表示に下線が表示され、選択すると矢印が番組名の前に表示されます。[▲▼]を押すと下に重なっている番組が表示されます。

番組表・番組説明等表示中のアイコン

現在選択されている番組のジャンルや属性のアイコンが表示されます。

ジャンル

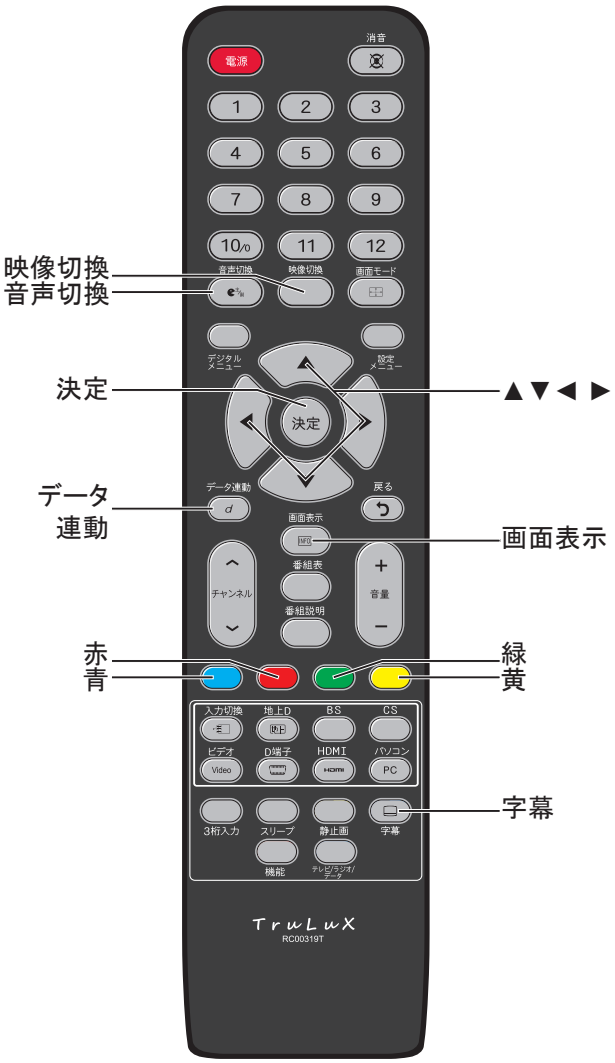
- ニュース/報道
- スポーツ
- 情報/ワイドショー
- ドラマ
- 音楽
- バラエティ
- 映画
- アニメ
- ドキュメンタリー/教養
- 劇場/公演
- 趣味/教養
- 福祉
- その他

属性

- テレビ放送の番組
- ラジオ放送の番組
- データ放送の番組
- ペイ・パー・ビューの番組
- 映像の縦横比が4:3の番組
- 映像の縦横比が16:9の番組
- 標準放送の番組
- ハイビジョン放送の番組
- データ放送の連動がある番組
- コピーワンスの制限がある番組
- 録画不可の番組
- デジタル録画不可の番組
- アナログ録画不可の番組
- 視聴が制限される年齢

映像と音の操作

デジタル放送



表示を切り換える

チャンネル情報の表示のしかたを切り換えます。

● [**画面表示**]を押す
　番組及び画面設定の情報が表示され、もう一度押すと表示は消えます。

音声を切り換える

スピーカーから出力する音声を切り換えます。

● [**音声切換**]を押す
　押すごとに、番組ごとに設定された音声の選択肢の中で切り換わります。

映像を切り換える

本機に出力する映像の種類を切り換えます。

● [**映像切換**]を押す
　押すごとに、番組ごとに設定された映像の選択肢の中で切り替わります。

字幕を切り換える

本機に出力する字幕の言語を切り換えます。

● [**字幕**]を押す
　押すごとに、番組ごとに設定された字幕言語の選択肢の中で切り換わります。

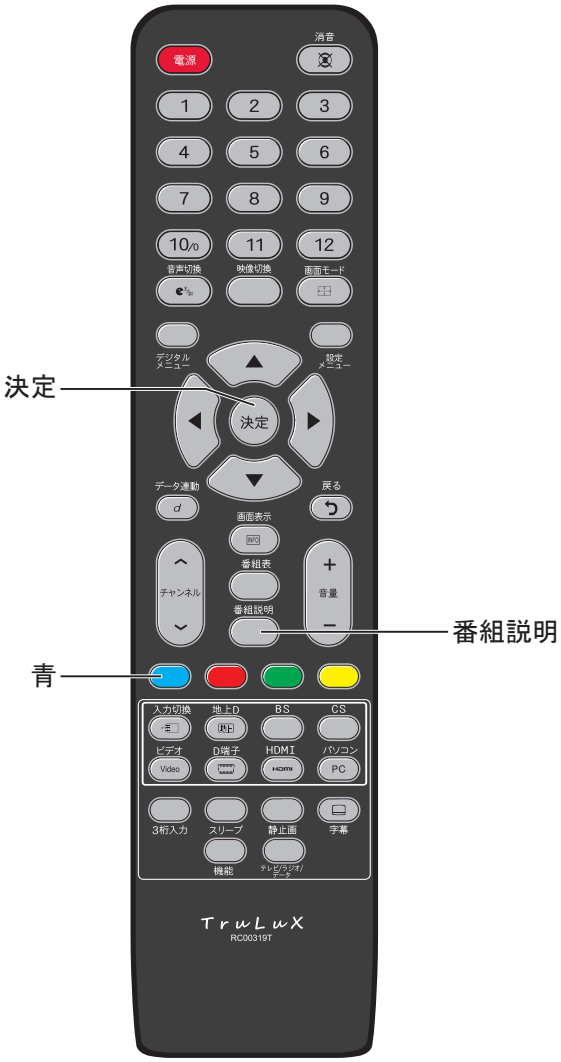
データ放送を受信する

ニュースや天気予報などの便利な情報やご覧の番組の情報など、各放送局によって工夫が凝らされたコンテンツをお楽しみいただけます。データ放送受信中の操作は、[▲▼◀ ▶]、[**決定**]、[**青**]/[**赤**]/[**緑**]/[**黄**]で行います。

● [d]を押す

お知らせ

● データ放送を行っているチャンネルでのみ有効です。



番組説明を表示する

現在視聴中または番組表で選んだ番組の内容説明を表示します。

● **[番組説明]**を押す

お知らせ

● 番組表表示中にご希望の番組を選択して**[青]**を押すか、**[決定]**を押した後で番組説明を選択しても番組説明を表示できます。

内容説明が表示され、画面下部に以下のメニューが表示されます。

戻る
メニューを閉じる。

見る（放送中の番組の時）
選択した番組を視聴する。

見るだけ予約（これから放送される番組の時）
選択した番組を予約する（☞48ページ）

その他の情報
番組に関する情報を表示する。
その他の情報を選んで**[決定]**を押すと、以下のメニューが表示されます。

予約種別/保護設定
番組が予約されているか、また予約が保護されているかを表示します（☞52ページ）

ジャンル情報
ジャンル別検索時、どのジャンルに属しているかを表示します。

映像情報
画面サイズ・画格を表示します。

音声情報
音声に関する情報を表示します。

字幕情報
字幕の有無・言語を表示します。

PPV/購入金額
ペイ・パー・ビュー（番組単位で購入する有料番組）に関する情報、金額を表示します。通常の無料番組の場合は「情報がありません」と表示されます。

ペアレンタルレート
視聴年齢制限（☞59ページ）を表示します。

コピー制御
放送内容の録画・コピーに関する情報を表示します。多くの場合、一世代のみコピー可/アナログ録画可となっています。

● 「その他の情報」表示中に番組説明に戻るには**番組説明**を選んで**[決定]**を押します。番組表表示に**戻る**には戻るを選んで**[決定]**を押します。なお、**[番組説明]**を押して表示させた時は**戻る**を選択すると通常画面に戻ります。

一歩進んだ使いかた

この章では、他の機器を接続した場合の操作方法や、本機の設定を変える方法など、一歩進んだ使いかたについて説明しています。

デジタルメニューを使う..... 38

設定メニューを使う..... 61

つないだ機器を使う..... 68

デジタルメニューを使う

デジタルメニューの操作

デジタル放送をお楽しみいただく際のほとんどの操作は、デジタルメニューと機能メニューから行うことができます。

基本的な操作

デジタルメニュー中の操作方法は、原則的に以下の操作の組み合わせで行います。

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [▲▼◀ ▶]を押して項目を選ぶ(または数字ボタンで数字を入力する)。
3. [**決定**]を押して選択を確定する。

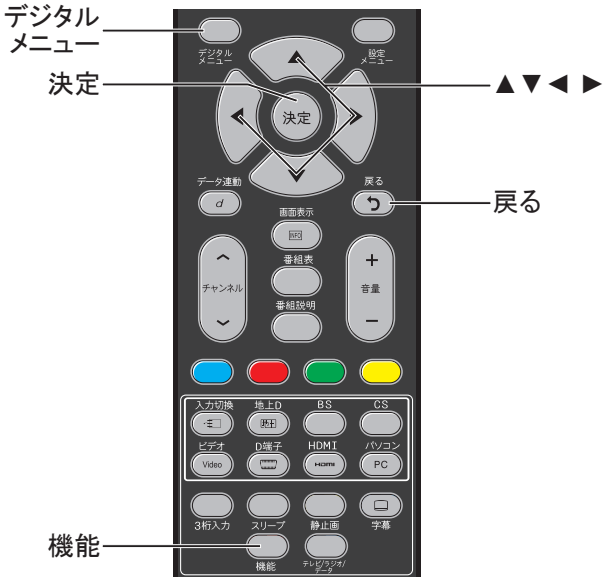
お知らせ

- [**戻る**]を押すとひとつ前の画面に戻ります。
- デジタルメニュー中で使用するリモコンのボタンは、画面に表示されますので、ご参照ください。

機能メニューについて

デジタル放送受信中によく使用する機能を、機能メニューとして呼び出すことができます。機能メニューの項目は、呼び出したときの状態によって変わります。機能メニューの表示/非表示の切り換えかたは以下の通りです。

1. [**機能**]を押す。
2. [▲▼]を押して項目を選び、[**決定**]を押す。



通常画面中の機能メニュー

[**機能**]を押すと以下のメニューが表示されます。

戻る
機能メニューを閉じる。

他番組一覧
受信中以外の番組の一覧を画面下部に表示する。

チャンネル別番組表
チャンネル別の番組表を表示する。

お気に入り番組表
お気に入りに登録したチャンネルの番組表を表示する。

お気に入りに登録
現在受信中のチャンネルをお気に入りに登録する。

全番組情報の取得更新
現在受信可能なデジタル放送の番組情報を全て最新にする。

アンテナレベル
受信状況を表示する。

選局する

チャンネル一覧から選局する

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀ ▶]を押して**選局する**を選ぶ。
3. [▲ ▼]を押して**ch(チャンネル)一覧**を選び、[**決定**]を押す。
4. [**テレビ/ラジオ/データ**]を押してサービス種別を選ぶ。
5. [▲ ▼ ◀ ▶]を押してお好みのチャンネルを選び、[**決定**]を押す。

チャンネル一覧表示中の機能メニュー

[**機能**]を押すと以下のメニューが表示されます。

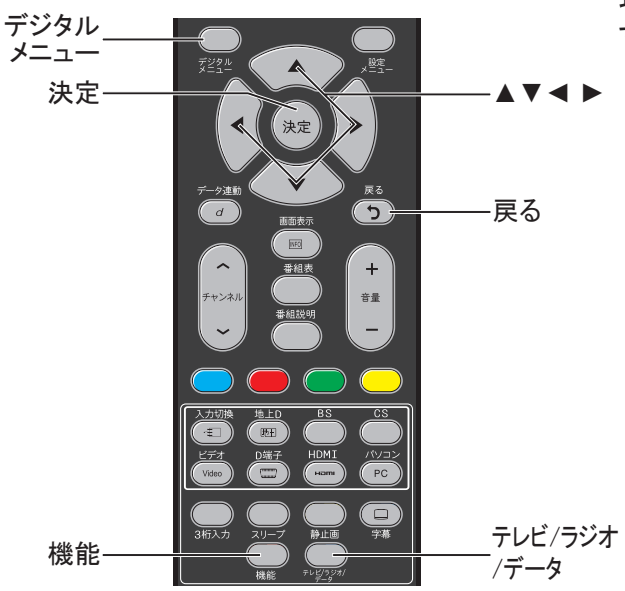
戻る
機能メニューを閉じる。

チャンネル別番組表
チャンネル別の番組表を表示する。

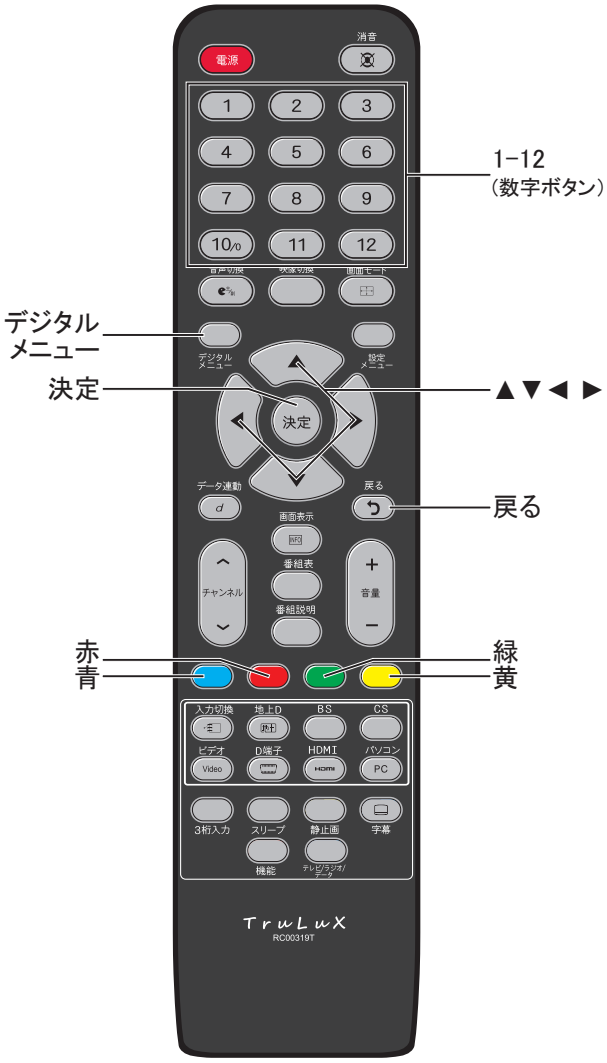
お気に入り番組表
お気に入りに登録したチャンネルの番組表を表示する。

番組情報取得
選択中のチャンネルの番組情報を取得する。

全番組情報の取得更新
現在受信可能なデジタル放送の番組情報を全て最新にする。



選局する



お気に入りに登録する

本機では、お好みのチャンネルを「お気に入り」として登録することができます。[青][赤][緑][黄]の4つのグループにそれぞれ12局ずつ、合計48局まで登録できます。

現在のチャンネルを登録する

受信中のチャンネルをお気に入りに登録します。

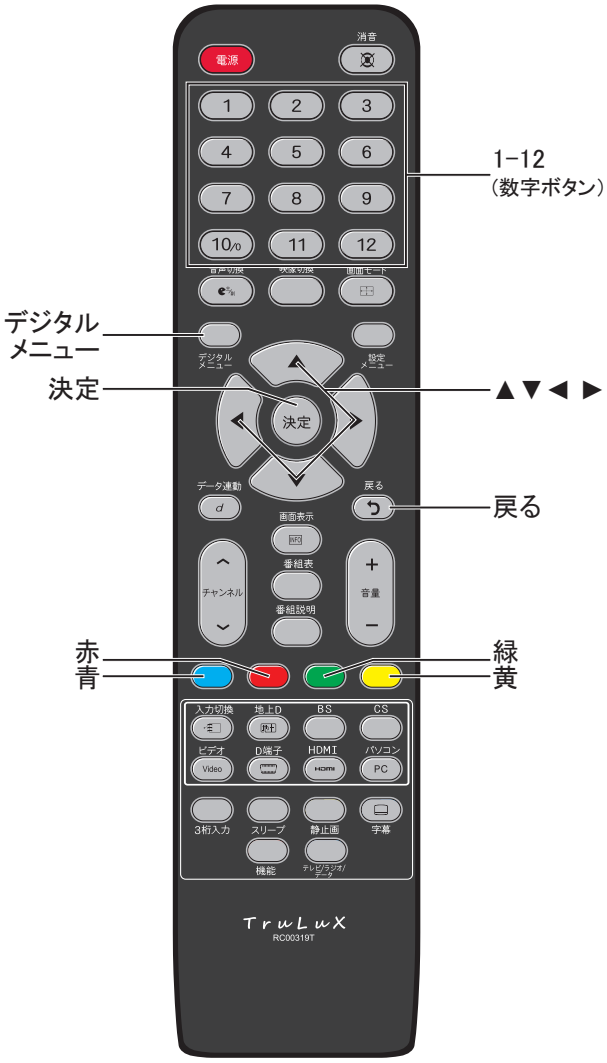
1. 登録したいチャンネルを選局する。
2. [**デジタルメニュー**]を押す。
3. [◀ ▶]を押して**選局する**を選ぶ。
4. [▲ ▼]を押して**お気に入りに登録**を選び、[**決定**]を押す。
5. [**青**][**赤**][**緑**][**黄**]を押してご希望のグループを選ぶ。
6. [▲ ▼]を押して**現在のchを登録**を選び、[**決定**]を押す。

チャンネル番号から登録する

チャンネル番号を選んでお気に入りに登録します。

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀ ▶]を押して**選局する**を選ぶ。
3. [▲ ▼]を押して**お気に入りに登録**を選び、[**決定**]を押す。
4. [**青**][**赤**][**緑**][**黄**]を押してご希望のグループを選ぶ。
5. [▲ ▼]を押して**ch番号から登録**を選び、[**決定**]を押す。
6. [▲ ▼]を押して放送種別（地上デジタル/BS/CS1/CS2）を選び、数字ボタンを押してチャンネル番号を入力する（枝番号がある場合は枝番号も選ぶ）。
7. [◀ ▶]を押して決定を選び、[**決定**]を押す。

選局する



お気に入りを編集する

お気に入りに登録したチャンネルの並び替えやお気に入りからの消去を行います。

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀ ▶]を押して**選局する**を選ぶ。
3. [▲ ▼]を押して**お気に入りに登録**を選び、[**決定**]を押す。
4. [▲ ▼]を押して**お気に入りの編集**を選び、[**決定**]を押す。
5. [**青**][**赤**][**緑**][**黄**]を押して編集したいお気に入りのグループを選ぶ。
6. [▲ ▼]を押して編集したい放送局を選び、[**決定**]を押す。
   [**決定**]を押すと、以下のメニューが表示されます。
   消去
   選択したチャンネルをお気に入りから消去する。
   いちばん上へ
   選択したチャンネルをリストのいちばん上へ移動する。
   ひとつ上へ
   選択したチャンネルをひとつ上の位置へ移動する。
   ひとつ下へ
   選択したチャンネルをひとつ下の位置へ移動する。
   いちばん下へ
   選択したチャンネルをリストのいちばん下へ移動する。
7. [▲ ▼]を押して編集内容をメニューから選び、[**決定**]を押す。

お気に入り一覧から選局する

お気に入りに登録したチャンネルから選局します。

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀ ▶]を押して**選局する**を選ぶ。
3. [▲ ▼]を押して**お気に入り一覧**を選び、[**決定**]を押す。
4. 受信したい放送局を選ぶ。

以下の方法で選局できます。

- [**青**]/[**赤**]/[**緑**]/[**黄**]を押してグループ、[▲ ▼]を押して放送局を選び、[決定]を押す。
- [**青**]/[**赤**]/[**緑**]/[**黄**]を押してグループを選び、数字ボタンを押して登録番号から選ぶ。

番組を探す

番組表から探す

番組表（EPG）を使って番組を探します。

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀▶]を押して**番組を探す**を選ぶ。
3. [▲▼]を押して**番組表**を選び、[**決定**]を押す。
4. [**テレビ/ラジオ/データ**]を押してサービス種別を選ぶ。
5. [▲▼◀▶]を押して番組を選び、[**決定**]を押す。

放送中の番組を選んで[**決定**]を押すと、以下のメニューが表示されます。

戻る
メニューを閉じる。

見る
選択した番組を視聴する。

番組説明
選択した番組の説明を表示する。

番組表表示中の機能メニュー

[**機能**]を押すと以下のメニューが表示されます。

戻る
機能メニューを閉じる。

表示サイズ変更
番組表の表示サイズを変更する。

チャンネル別番組表
チャンネル別の番組表を表示する。

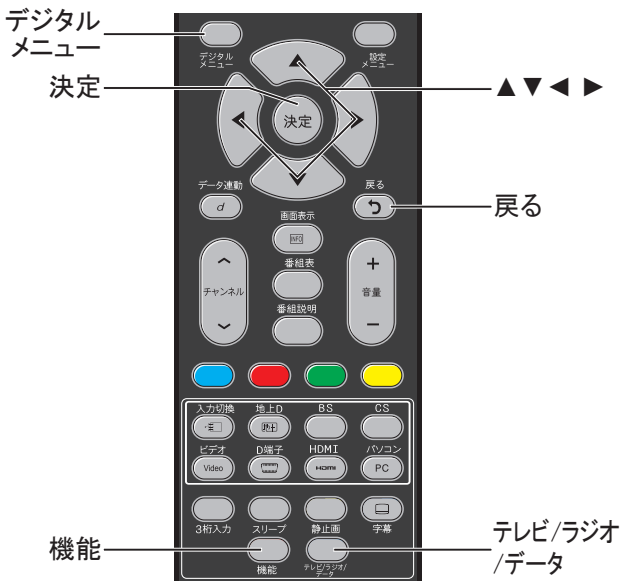
お気に入り番組表
お気に入りに登録したチャンネルの番組表を表示する。

ジャンル検索
ジャンルから番組を検索し絞り込む。

予約一覧
予約した番組の一覧を表示する。

番組情報取得
選択しているチャンネルの番組情報を取得する。

全番組情報の取得更新
現在受信可能なデジタル放送の番組情報を全て最新にする。



番組を探す

お気に入り番組表から探す

お気に入りに登録したチャンネルだけで構成される番組表を使って番組を探します。

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀▶]を押して**番組を探す**を選ぶ。
3. [▲▼]を押して**お気に入り番組表**を選び、[**決定**]を押す。
4. [▲▼◀▶]を押して番組を選び、[**決定**]を押す。

放送中の番組を選んで[**決定**]を押すと、以下のメニューが表示されます。

戻る
メニューを閉じる。

見る
選択した番組を視聴する。

番組説明
選択した番組の説明を表示する。

お気に入り番組表表示中の機能メニュー

[**機能**]を押すと以下のメニューが表示されます。

戻る
機能メニューを閉じる。

表示サイズ変更
番組表の表示サイズを変更する。

チャンネル別番組表
チャンネル別の番組表を表示する。

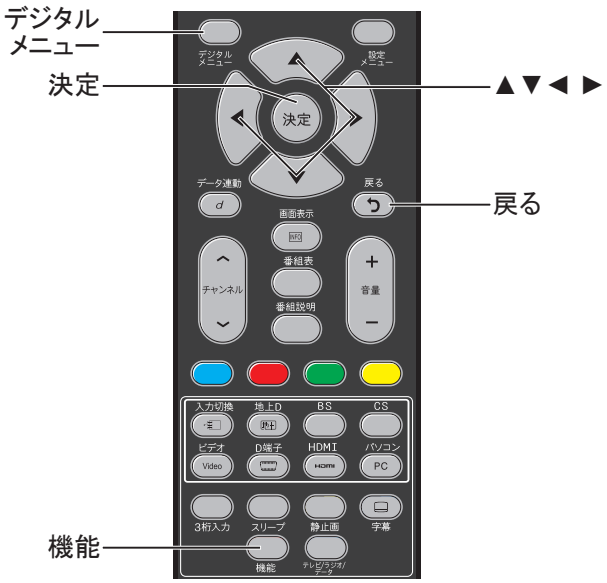
番組表
通常の番組表を表示する。

ジャンル検索
ジャンルから番組を検索し絞り込む。

予約一覧
予約した番組の一覧を表示する。

番組情報取得
選択しているチャンネルの番組情報を取得する。

全番組情報の取得更新
現在受信可能なデジタル放送の番組情報を全て最新にする。



番組を探す

他番組一覧から探す

視聴している画面を背景に、その他のチャンネルの番組を表示し、番組を探します。

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀▶]を押して**番組を探す**を選ぶ。
3. [▲▼]を押して**他番組一覧**を選び、[**決定**]を押す。
4. [**テレビ/ラジオ/データ**]を押してサービス種別を選ぶ。
5. [◀▶]を押して番組を選び、[**決定**]を押す番組を選んで[**決定**]を押すと、選んだ番組に切り替わります。

他番組一覧表示中の機能メニュー

[**機能**]を押すと以下のメニューが表示されます。

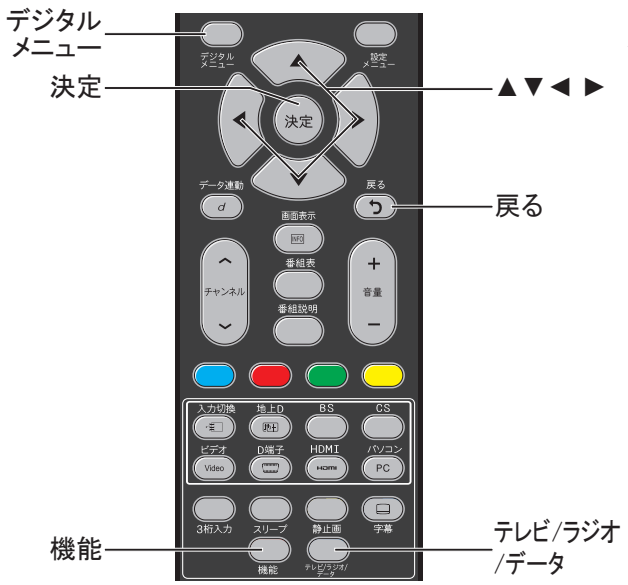
戻る
機能メニューを閉じる。

チャンネル別番組表
チャンネル別の番組表を表示する。

お気に入り番組表
お気に入りに登録したチャンネルの番組表を表示する。

番組情報取得
選択しているチャンネルの番組情報を取得する。

全番組情報の取得更新
現在受信可能なデジタル放送の番組情報を全て最新にする。



番組を探す

チャンネル別番組表から探す

チャンネルごとの番組表から番組を探します。この機能は、以下の画面中でのみ有効です。

- 通常画面
- チャンネル一覧画面
- 番組表画面
- お気に入り番組表画面
- 他番組一覧画面
- ジャンル検索結果画面

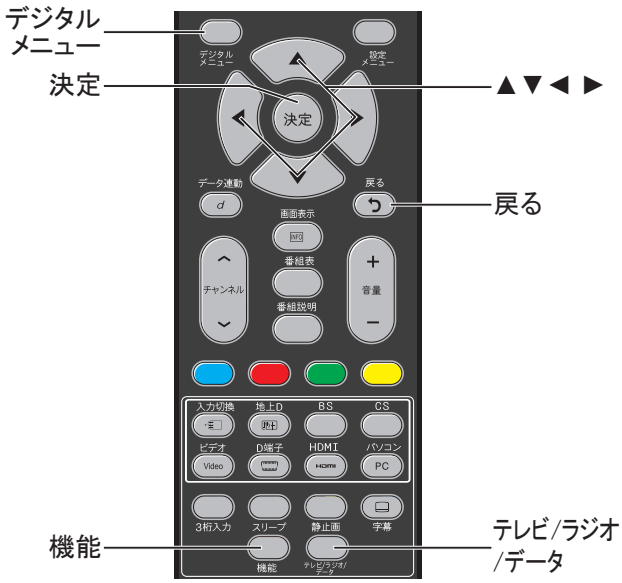
1. [**機能**]を押す。
2. [▲▼]を押して**チャンネル別番組表**を選び、[**決定**]を押す。
3. [**テレビ/ラジオ/データ**]を押してサービス種別を選ぶ。
4. [▲▼]を押して番組を選び、[**決定**]を押す。

番組を選んで[**決定**]を押すと、以下のメニューが表示されます。

戻る
メニューを閉じる。

番組説明
選択した番組の説明を表示する。

見るだけ予約.
番組視聴の予約をする。(☞48ページ)



チャンネル別番組表表示中の機能メニュー

[**機能**]を押すと以下のメニューが表示されます。

戻る
機能メニューを閉じる。

番組表
通常の番組表を表示する。

お気に入り番組表
お気に入りに登録したチャンネルの番組表を表示する。

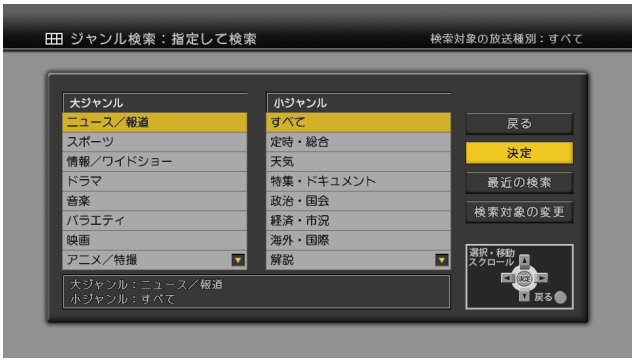
ジャンル検索
ジャンルから番組を検索し絞り込む。

予約一覧
予約した番組の一覧を表示する。

番組情報取得
選択しているチャンネルの番組情報を取得する。

全番組情報の取得更新
現在受信可能なデジタル放送の番組情報を全て最新にする。

番組を探す



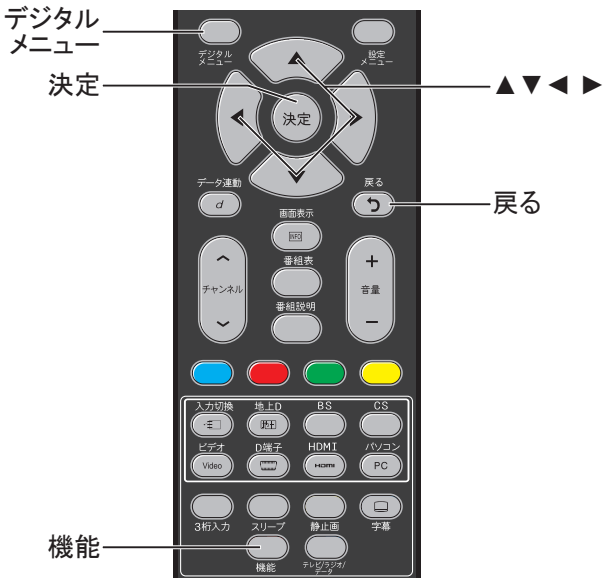
ジャンル検索で探す

番組のジャンルからから番組を探します。この機能は、以下の画面中でのみ有効です。

- 番組表画面
- お気に入り番組表画面
- チャンネル別番組表画面

1. [**機能**]を押す。
2. [▲▼]を押して**ジャンル検索**を選び、[**決定**]を押す。
3. [▲▼◀▶]を押して大ジャンル・小ジャンルを選ぶ。
   - 決定を選ぶと、該当するチャンネルの一覧を表示します。
   - 最近の検索を選ぶと、最近検索したジャンルが表示されます。
   - 検索対象の変更を選ぶと、検索対象（画面右上に表示）が地上デジタル/BS/SC1/CS2の間で切り替わります。
4. [▲▼]を押して番組を選び、[**決定**]を押す。

番組を選んで[**決定**]を押すと、以下のメニューが表示されます。



戻る
メニューを閉じる。

番組説明
選択した番組の説明を表示する。

見るだけ予約
番組視聴の予約をする。（☞48ページ）

ジャンル検索結果表示中の機能メニュー

[**機能**]を押すと以下のメニューが表示されます。

戻る
機能メニューを閉じる。

再検索
ジャンル検索画面に戻る。

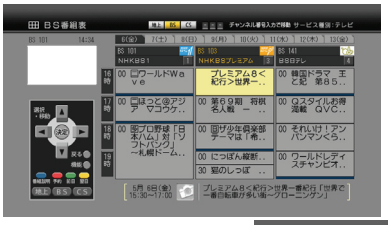
チャンネル別番組表
チャンネル別の番組表を表示する。

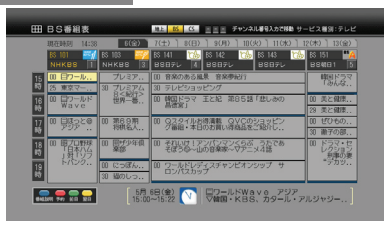
お気に入り番組表
お気に入りに登録したチャンネルの番組表を表示する。

予約一覧
予約した番組の一覧を表示する。

全番組情報の取得更新
現在受信可能なデジタル放送の番組情報を全て最新にする。

番組を探す



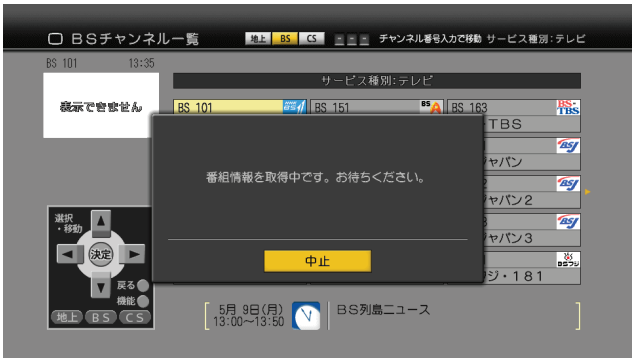


番組表の表示サイズを変更する

番組表の表示サイズを、4時間×3チャンネルと5時間×6チャンネルの間で切り換えます。この機能は、以下の画面中でのみ有効です。

- 番組表画面
- お気に入り番組表画面

1. [**機能**]を押す。
2. [▲▼]を押して**表示サイズ変更**を選び、[**決定**]を押す。

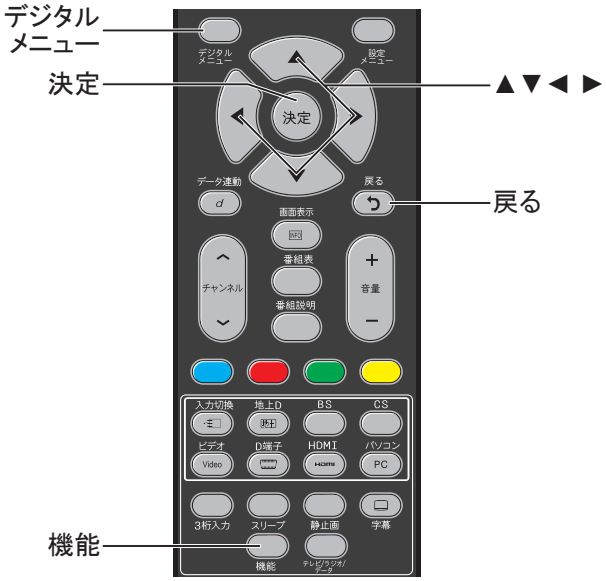


番組情報を取得する

視聴中のチャンネルの、1日分の番組情報を取得します。この機能は、以下の画面中でのみ有効です。

- 番組表画面
- お気に入り番組表画面
- チャンネル別番組表画面
- チャンネル一覧画面
- 他番組一覧画面

1. [**機能**]を押す。
2. [▲▼]を押して**番組情報取得**を選び、[**決定**]を押す。



全ての番組情報を取得する

視聴中のチャンネルの、1日分の番組情報を取得します。この機能は、以下の画面中でのみ有効です。

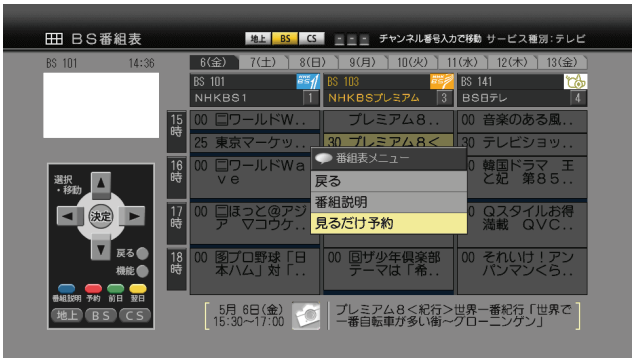
- 通常画面
- 番組表画面
- お気に入り番組表画面
- チャンネル別番組表画面
- チャンネル一覧画面
- ジャンル検索結果画面

1. [**機能**]を押す。
2. [▲▼]を押して**全番組情報の取得更新**を選び、[**決定**]を押す。

ご注意

- 全番組情報の取得更新が完了するまでには、数分から数十分程度の時間がかかる場合があります。電源を切ったり、コンセントから電源プラグを抜いたりしないでください。

見るだけ予約



ご覧になりたい番組を予約して、放送時刻に自動的にその番組に切換えることができます。

お知らせ

- 予約時刻に本機の電源がオフまたは待機になっていた場合は受信しません。

番組表から予約する

番組表（EPG）を使って番組を予約します。

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀▶]を押して**予約する**を選ぶ。
3. [▲▼]を押して**番組表から予約**を選び、[**決定**]を押す。
4. [**テレビ/ラジオ/データ**]を押してサービス種別を選ぶ。
5. [▲▼◀▶]を押して予約したい番組を選び、[**決定**]を押す。

   [**決定**]を押すと、以下のメニューが表示されます。

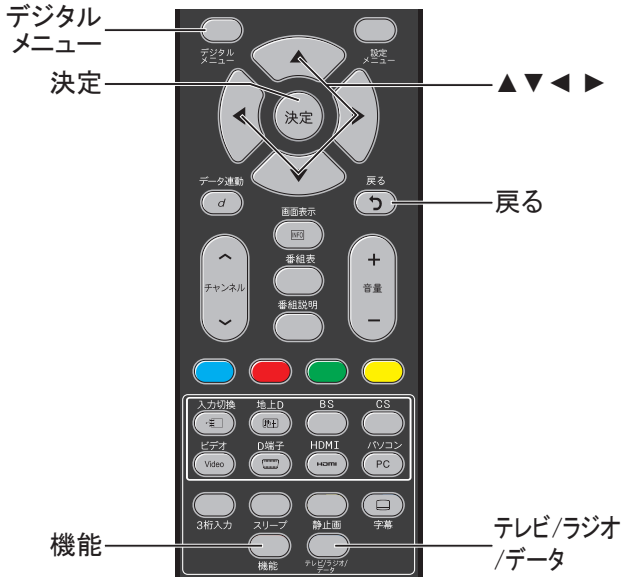
   戻る
   メニューを閉じる。

   番組説明
   選択した番組の説明を表示する。

   見るだけ予約
   番組視聴の予約をする。
6. [▲▼]を押して**見るだけ予約**を選び、[**決定**]を押す。
7. [◀▶]を押して**決定**を選び、[**決定**]を押す。

お知らせ

- [**番組表**]を押して番組表を表示させ、ご希望の番組を選んで[**赤**]を押しても予約できます。
- 見るだけ予約を指定した番組がペイ・パー・ビューの有料放送の場合、購入するかどうかの確認画面になります。**購入**する場合は購入をしない場合は**戻る**を選んで[**決定**]を押してください。



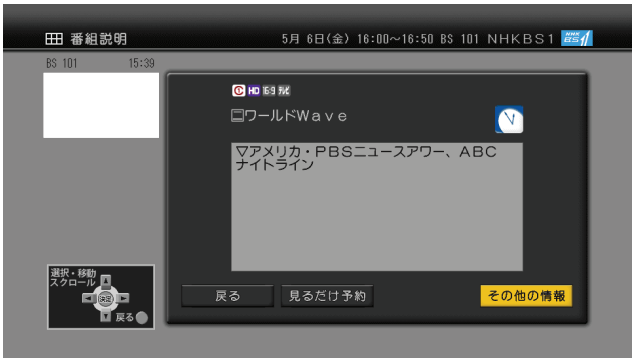
見るだけ予約

番組を指定して予約する

番組を指定して予約します。

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀▶]を押して**予約する**を選ぶ。
3. [▲▼]を押して**番組指定予約**を選び、[**決定**]を押す。
4. [▲▼]を押して放送種別(地上デジタル/BS/CS1/CS2)を選び、数字ボタンを押してチャンネル番号を入力する(枝番号がある場合は枝番号も選ぶ)。
5. [◀▶]を押して**次へ**を選び、[**決定**]を押す。
6. [▲▼◀▶]を押して日付と時間帯を選ぶ。
7. [◀▶]を押して**次へ**を選び、[**決定**]を押す。
8. [▲▼]を押して番組を選び、[**決定**]を押す。
9. [▲▼]を押して**決定**を選び、[**決定**]を押す。

- **チャンネル変更**を選ぶと、チャンネル選択画面に戻ります。
- **日時変更**を選ぶと、日時設定画面に戻ります。
- **中止**を選ぶと、予約を中止します。



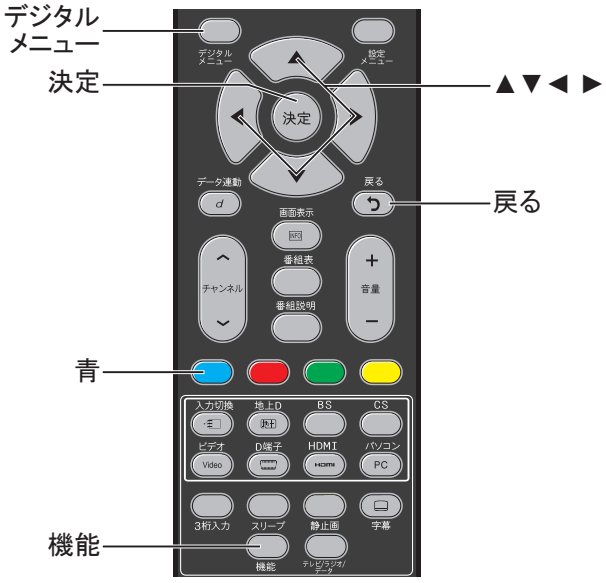
番組説明から予約する

番組説明を見て予約します。

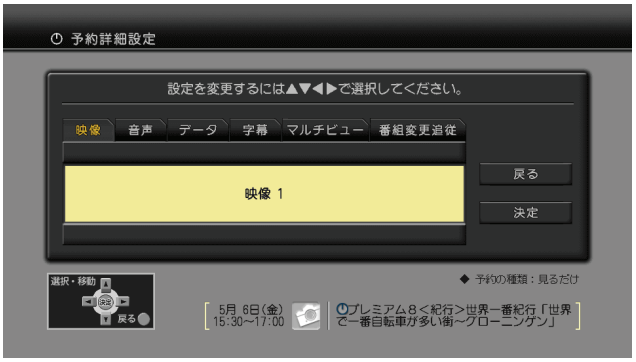
1. 番組表や予約一覧などから番組を選んで[**決定**]を押すと、以下の項目を含むメニューが表示されます。

   番組説明

2. [▲▼]を押して**番組説明**を選び、[決定]を押す。
   - 番組を選んで[**青**]を押しても、番組説明が表示されます。
   - 番組説明は[▲▼]を押してスクロールすることができます。また、[◀▶]を押して**その他の情報**または**番組情報**を選び、[**決定**]を押すと、それぞれの情報に切り替わります。
3. [◀▶]を押して**見るだけ予約**を選び、[**決定**]を押す。
4. [▲▼]を押して**決定**を選び、[**決定**]を押す。



見るだけ予約



予約を詳細に設定する

予約済番組の詳細設定をします。

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀▶]を押して**番組を探す**を選ぶ。
3. [▲▼]を押して**番組表**を選び、[**決定**]を押す。
4. [▲▼◀▶]を押して予約したい番組を選び、[**決定**]を押す。
   番組を選んで[**決定**]を押すと、以下のメニューが表示されます。

   戻る
   メニューを閉じる。

   番組説明
   選択した番組の説明を表示する。

   予約詳細設定
   予約詳細設定をする。

   予約取消
   予約を取り消す。
5. [▲▼]を押して**予約詳細設定**を選び、[**決定**]を押す。
6. [▲▼◀▶]を押して項目を選んで設定する選択・設定項目は以下の通りです。

   映像
   番組に複数の映像が含まれる場合、予約実行時に視聴する映像を選択します。

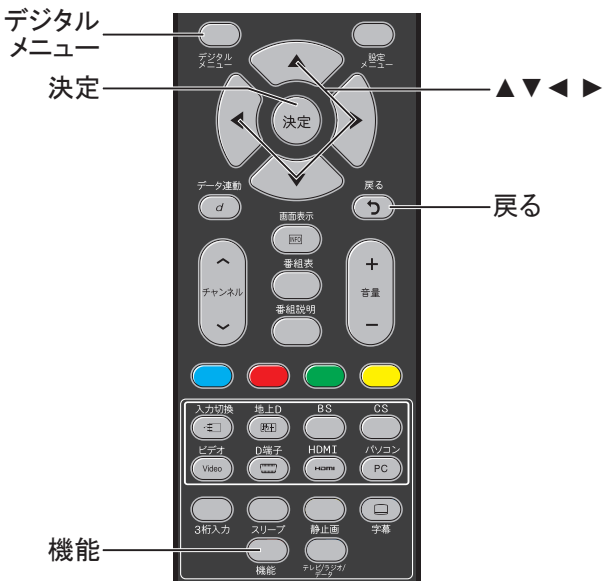
   音声
   番組に複数の音声が含まれる場合、予約実行時に視聴する音声を選択します。

   データ
   番組がデータ放送で、複数のデータが含まれる場合、表示するデータを選択します。

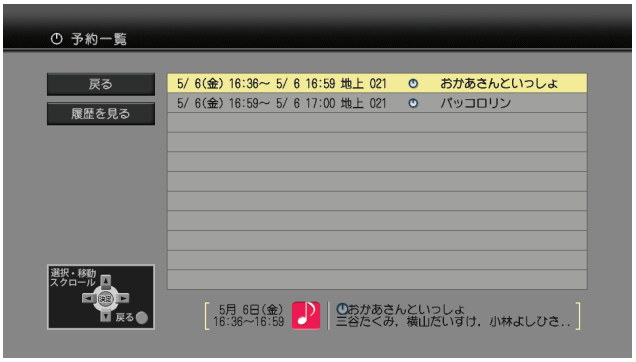
   字幕
   番組に字幕放送がある場合、字幕の表示を選択します。

   マルチビュー
   番組がマルチビューの場合、視聴する映像を選択します。

   番組変更追従
   番組自動追従（放送時間変更への追従）/イベントリレー（番組延長に伴う放送チャンネル変更への追従）の設定を選択します。
7. [▲▼]を押して**決定**を選び、[**決定**]を押す。



見るだけ予約



予約一覧で予約を確認する

予約一覧を使って予約を確認します。

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀▶]を押して**予約する**を選ぶ。
3. [▲▼]を押して**予約一覧**を選び、[**決定**]を押す。

- **履歴を見る**を選ぶと、過去の予約を見ることができます。履歴は32件のみ保存され、それを超えると古い情報から消去されていきます。

予約一覧表示中の機能メニュー

[**機能**]を押すと以下のメニューが表示されます。

戻る
機能メニューを閉じる。

チャンネル順に並べ換える
予約一覧をチャンネル順に並べ替える。

日付順に並べ換える
予約一覧を日付順に並べ替える。

先頭へ移動
予約一覧の一番上に移動する。

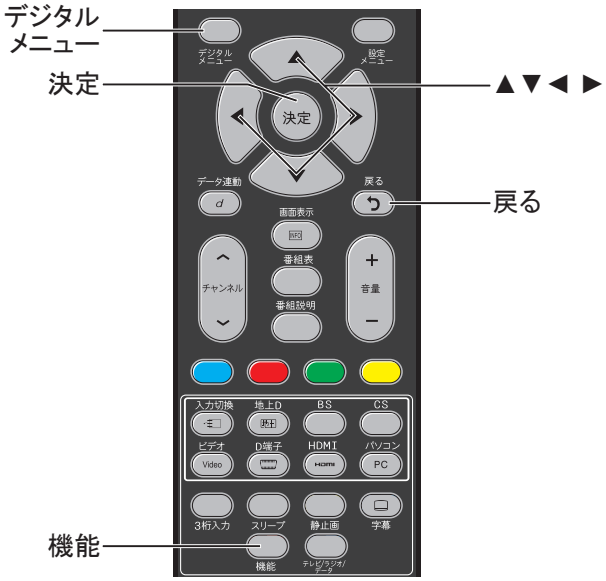
いちばん下へ移動
予約一覧の一番下に移動する。

予約一覧表示中のアイコン

予約保護された番組

予約視聴失敗

予約視聴成功



予約を取り消す

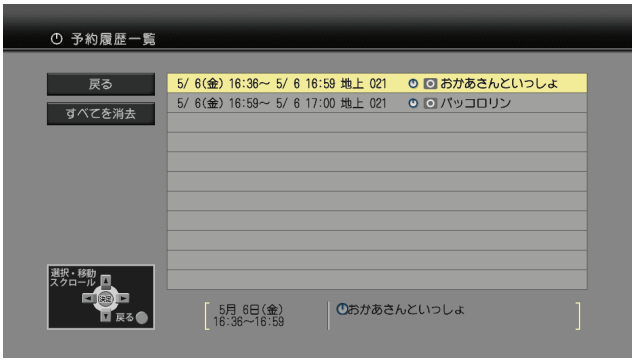
番組の予約を取り消します。

1. 番組表や予約一覧から、予約した番組を選ぶ番組を選んで[**決定**]を押すと、以下の項目を含むメニューが表示されます。

   予約取消

2. [▲▼]を押して**予約取消**を選び、[**決定**]を押す。
3. [◀▶]を押し押して**はい**を選び、[**決定**]を押す。

見るだけ予約



予約を保護する

番組の予約の取消を行おうとしたときに、警告メッセージを表示する設定をします。

1. 予約一覧から、予約した番組を選ぶ。
   番組を選んで[**決定**]を押すと、以下の項目を含むメニューが表示されます。
   予約の保護設定
2. [▲▼]を押して**予約の保護設定**を選び、[**決定**]を押す。
3. [◀▶]を押して**はい**を選び、[**決定**]を押す。
   番組を選んで[**決定**]を押すと、以下のメニューが表示されます。

お知らせ

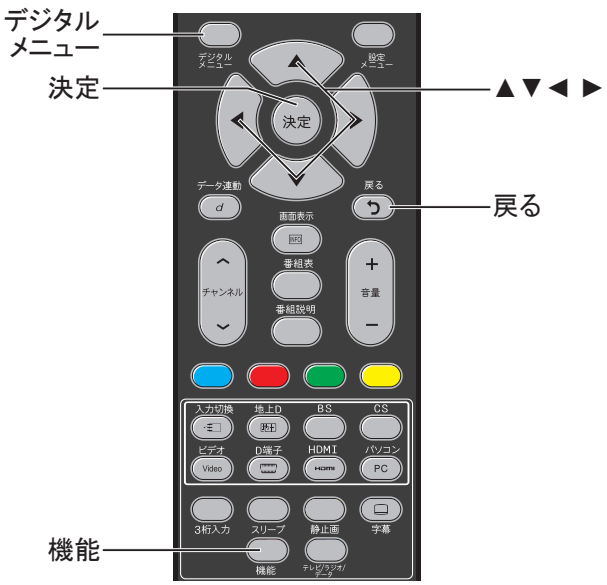
- すでに保護設定をした番組を選んで予約の保護設定を選ぶと、保護を解除するかどうかの確認画面になります。解除する場合は**はい**を、しない場合は**戻る**を選んで[**決定**]を押してください。

予約の履歴を確認(消去)する

予約の履歴を確認し、必要に応じて消去します。

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀▶]を押して**予約する**を選ぶ。
3. [▲▼]を押して**予約一覧**を選び、[**決定**]を押す。
4. [▲▼◀▶]を押して**履歴を見る**を選び、[**決定**]を押す。

- 履歴は32件のみ保存され、それを超えると古い情報から消去されていきます。



履歴を一件消去する

予約履歴一覧の中から、不要な履歴を消去します。

1. [▲▼]を押して不要な履歴を予約履歴一覧から選び、[**決定**]を押す。
2. [▲▼]を押して**消去する**を選び、[**決定**]を押す。

履歴を全て消去する

全ての予約履歴を消去します。

1. 予約履歴一覧を表示し、[▲▼◀▶]を押して**すべてを消去**を選び、[**決定**]を押す。
2. [◀▶]を押して**はい**を選び、[**決定**]を押す。

情報を見る

放送メールを見る

放送局よりの通知メールなど、受信したメールを表示します。

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀▶]を押して**情報を見る**を選ぶ。
3. [▲▼]を押して**メール**を選び、[**決定**]を押す。

- メールは40件のみ保存され、それを超えると古い情報から消去されていきます。

放送メール表示中のアイコン

未開封

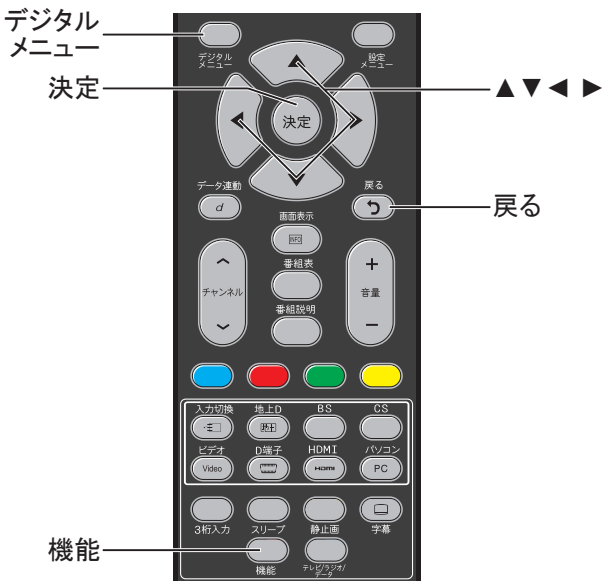
開封済み

掲示板情報を見る

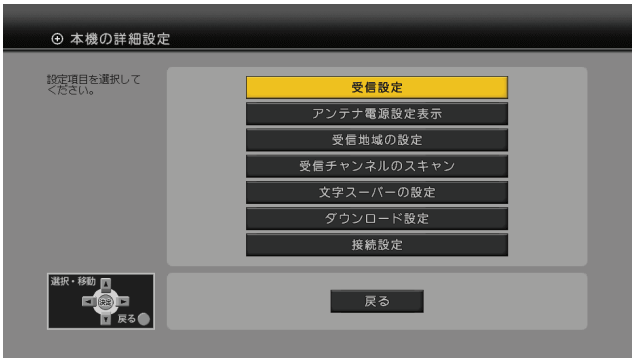
110度CSデジタル放送波より通知される掲示板情報を表示します。

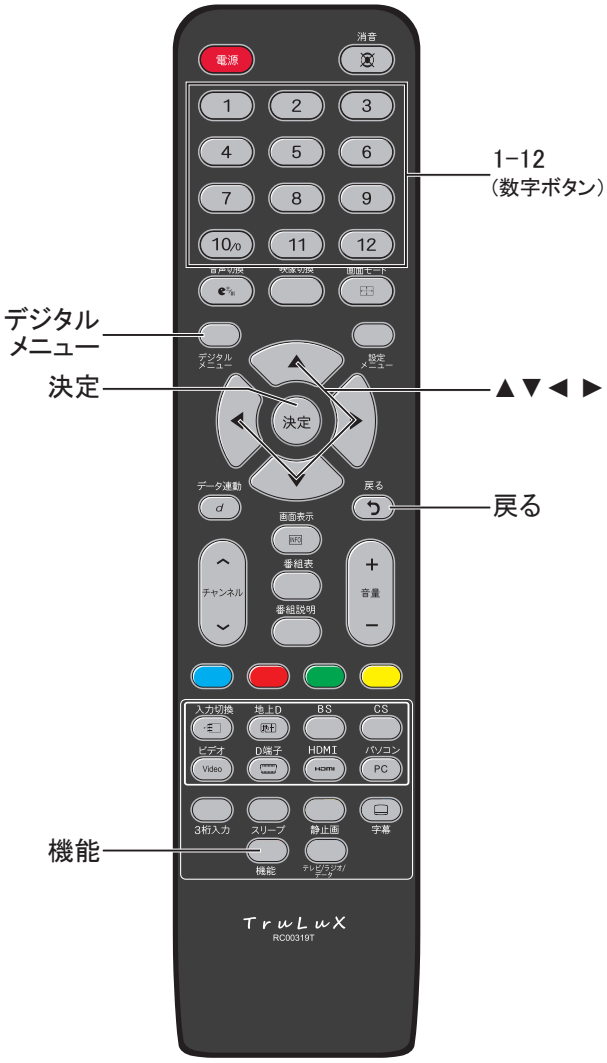
1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀▶]を押して**情報を見る**を選ぶ。
3. [▲▼]を押して**CSボード**を選び、[**決定**]を押す。
4. [▲▼]を押して**タイトル**を選び、[**決定**]を押す。

- **CS1表示**または**CS2表示**を選ぶと、それぞれの情報に切り替わります。
- 掲示板情報は50件のみ保存され、それを超えると古い情報から消去されていきます。



機器設定





本機の初期設定を行う

デジタル放送の受信設定などを行います。

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀▶]を押して**機器設定**を選ぶ。
3. [▲▼]を押して**本機の詳細設定**を選び、[**決定**]を押す。
4. 項目を選んで設定、調整する。

受信の設定を行う

指定したチャンネルの受信状態の表示と、受信チャンネルの設定を行います。

1. 本機の詳細設定画面で[▲▼]を押して**受信設定**を選び、[**決定**]を押す。
2. [▲▼◀▶]を押して放送と受信チャンネルを選択する。
3. [▲▼]を押して**決定**を選び、[**決定**]を押す。

お知らせ

- ごくまれに放送衛星・通信衛星の不具合により、物理チャンネルの変更が必要になることがあります。このような場合、テレビ局から使用可能な物理チャンネルを知らせてきますので、この設定メニューでその物理チャンネル番号を入力し、「BSデジタル放送受信中」または「110 度CSデジタル放送受信中」が表示されることを確認の上、**決定**を選んで[**決定**]を押してください。

機器設定

アンテナ電源の設定を表示する

本機からアンテナへの電源供給を行うかどうかの設定を表示します。

1. 本機の詳細設定画面で[▲▼]を押して**アンテナ電源設定表示**を選び、[**決定**]を押す。

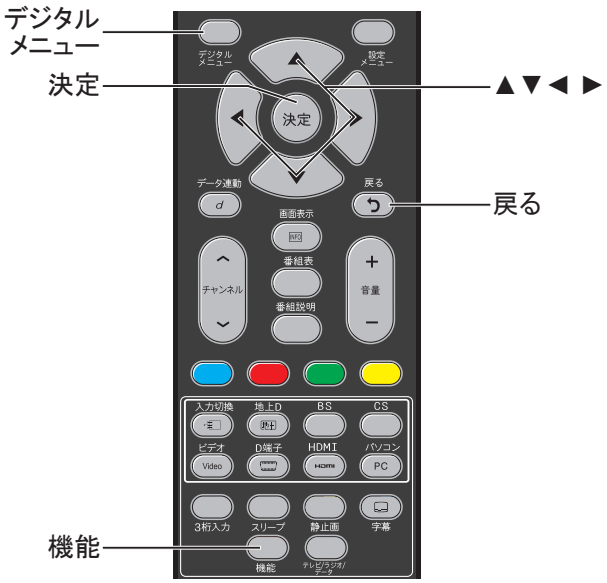
オン

アンテナに電源を供給します。

オフ

アンテナに電源を供給しません。

- 初期設定ではオンになっています。アンテナ・分配器などに不具合があった場合、安全のためにデジタル放送の機能を停止することがあります。電源コードを一度抜いてから再度挿入すれば復旧しますが、この場合にアンテナ電源がオフとなっていることがあります。また、お住まいを変えられた場合などで、衛星放送を受信できない場合はアンテナ電源がオフになっていないかを確認してください。オンにするには設定初期化(☞59ページ)を行ってください。



受信地域の設定を行う

本機をご利用いただく地域の設定を行います。データ放送で天気予報や地域情報を受信するための設定です。

1. 本機の詳細設定画面で[▲▼]を押して**受信地域の設定**を選び、[**決定**]を押す。
2. 数字ボタンを押して郵便番号を入力し、[▲▼]を押して地域を選び、[**決定**]を押す。
3. [▲▼]を押して**決定**を選び、[**決定**]を押す。

受信チャンネルのスキャンを行う

本機をご使用いただく地域での、受信可能なチャンネルのスキャンを行います。

1. 本機の詳細設定画面で[▲▼]を押して**受信チャンネルのスキャン**を選び、[**決定**]を押す。
2. [◀▶]を押して**初期スキャン**または**再スキャン**を選び、[**決定**]を押す。

初期スキャン

本機を初めて設定するときに選択します。

再スキャン

設置後、受信チャンネルが変更されたときに選択します。

お知らせ

- BSデジタル放送・110度CSデジタル放送のチャンネルは自動的にスキャンされます。

機器設定

文字スーパーの設定を行う

文字スーパーの表示の設定を行います。

1. 本機の詳細設定画面で[▲▼]を押して**文字スーパーの設定**を選び、[**決定**]を押す。
2. [▲▼◀▶]を押して文字スーパーの設定をそれぞれ選択する。
3. [▲▼◀▶]を押して**決定**を選び、[**決定**]を押す。

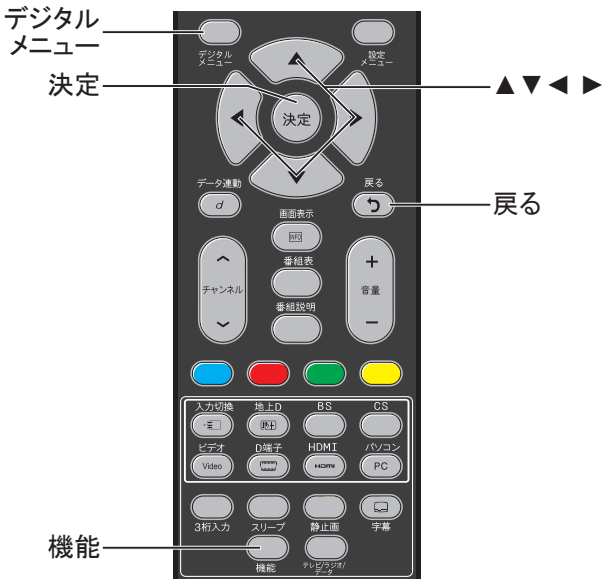
ダウンロード設定を行う

本機には、デジタル放送のみに関連する部分のソフトウェアを自動的に更新する機能があります。ソフトウェアはデジタル放送電波の中に含まれて送信されます。ソフトウェアの更新を行うと設定しておくと、常に最新版に置き換えられたソフトウェアで、本機をお使いいただけます。通常は**する**をお選びください。

1. 本機の詳細設定画面で[▲▼]を押して**ダウンロード設定**を選び、[**決定**]を押す。
2. [◀▶]を押して**する**または**しない**を選び、[**決定**]を押す。
3. [▲▼◀▶]を押して**決定**を選び、[**決定**]を押す。

お知らせ

- ダウンロードは待機状態の時に自動的に行われます。ダウンロード中は電源コードを抜かないでください。



デジタル音声出力の設定を行う

光デジタル音声出力端子からAVアンプなどを接続するときの、音声出力形式を設定します。

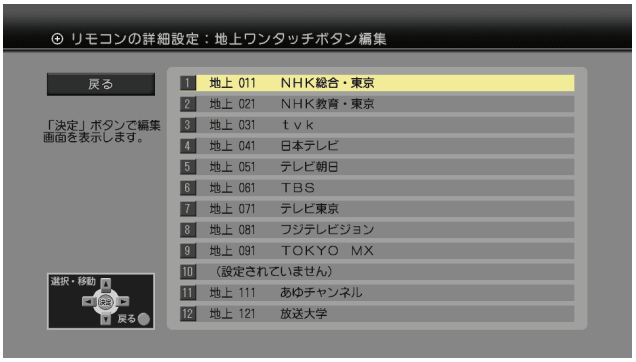
1. 本機の詳細設定画面で[▲▼]を押して**接続設定**を選び、[**決定**]を押す。
2. [◀▶]を押して**PCM**または**AAC**を選び、[**決定**]を押す。

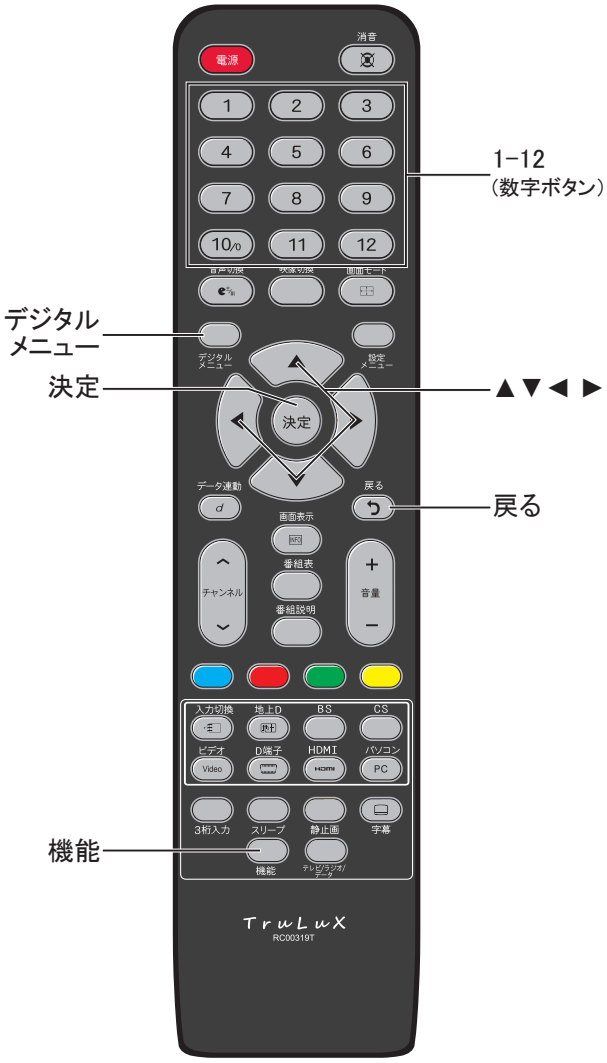
   AAC
   AAC対応のAVアンプなどをつないでいるときに選択してください。音声が変換されずに出力されます。

   PCM
   AACに対応していないAVアンプなどをつないでいるときに選択してください。音声がPCM（2ch）の音声に変換されて出力されます。

3. [▲▼◀▶]を押して**決定**を選び、[**決定**]を押す。

機器設定



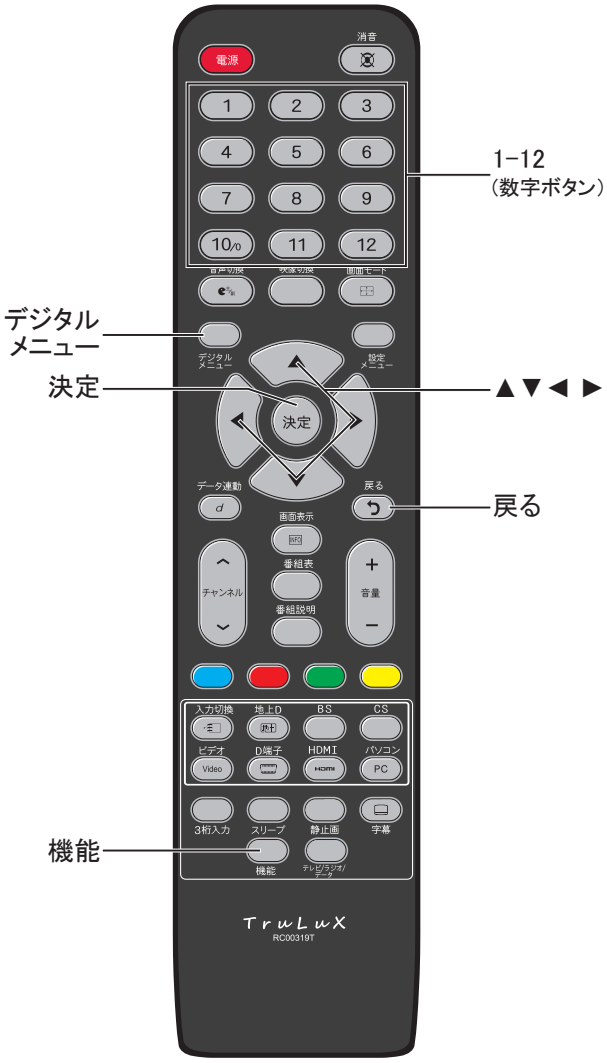


リモコンの詳細設定を行う

各チャンネルはリモコンの数字ボタンに登録されており、ワンタッチで呼び出すことができます。この数字ボタンへのチャンネルの割り当てを変更することができます。

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀▶]を押して**機器設定**を選ぶ。
3. [▲▼]を押して**リモコンの詳細設定**を選び、[**決定**]を押す。
4. 登録を変更したいボタン番号を選ぶ。
   以下の方法で選ぶことができます。
   - 編集したいワンタッチボタン（数字ボタン）を押す。
   - [▲▼◀▶]を押して編集したいワンタッチボタンを選び、[**決定**]を押す。
5. 選んだボタン番号に登録したいチャンネルを[▲▼]を押して選ぶ。
6. [◀▶]を押して決定び、[**決定**]を押す。

このときに**設定解除**を選択し、その後[◀▶]を押して**はい**を選び、[**決定**]を押すと、ボタン番号への登録が解除されます。



個人利用の制限と初期化

暗証番号や視聴制限の設定、または初期化を行います。

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀▶]を押して**機器設定**を選ぶ。
3. [▲▼]を押して**個人利用と制限**を選び、[**決定**]を押す。

- 初期状態では、自動的に暗証番号設定画面になります。[▲▼◀▶]を押して**決定**を選んで[**決定**]を押し、下記の「暗証番号の設定を行う」の操作を行ってください。

暗証番号の設定を行う

暗証番号の設定を行います。

1. 個人利用と制限画面で[▲▼]を押して**暗証番号の設定**を選び、[**決定**]を押す。
   - 一度設定した暗証番号を変更する場合は、暗証番号確認の画面になります。数字ボタンを押して現在の暗証番号を入力してください。
2. 新しい暗証番号を2回入力する。
3. [◀▶]を押して**決定**を選び、[**決定**]を押す。

お知らせ

- 初期状態では、暗証番号は設定されていませんので、設定してください。

ご注意

- 暗証番号は必ず紙などに書いて保存し、忘れたり無くしたりしないようにご注意ください。暗証番号がわからなくなると、初期化および再設定が必要になり、登録された設定やデータが初期化されてしまいます。

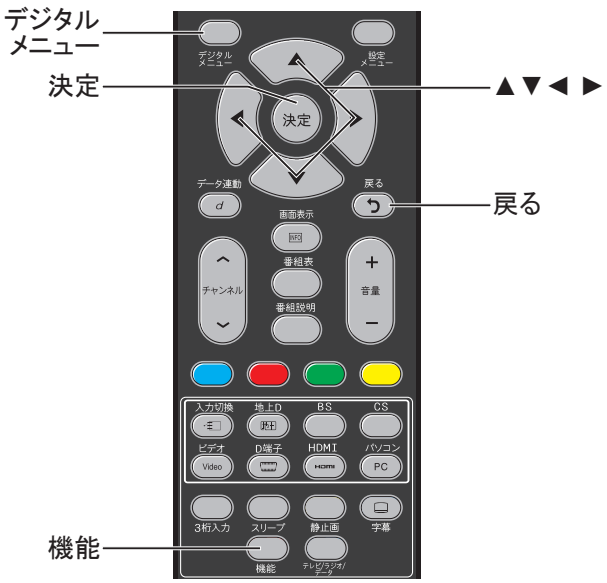
機器設定

設定情報の初期化により（）内の初期設定になる設定

※下記の個人情報の消去も適用されます。
チャンネル一覧（消去）
受信設定
地上デジタル（Ch1）
BSデジタル（ChBS15）
110度CS1（ChND2）
110度CS2（ChND4）
アンテナ電源設定（オン）
郵便番号（消去）
地域の選択（東京都）
受信チャンネルのスキャン（初期スキャン）
文字スーパー（日本語）
ダウンロード設定（する）
デジタル音声出力（PCM）
リモコンの詳細設定（消去）
暗証番号（消去）
年齢制限（無制限）
タイトル制限（する）
ボード（お知らせ）（消去）

個人情報の消去により削除される情報

お気に入り
予約
データ放送関連
データ番組表データ



視聴制限の設定を行う

ペアレンタルコード（視聴制限コード：番組内容による視聴制限）が設定されている番組の視聴に関する設定を行います。

1. 個人利用と制限画面で[▲▼]を押して**視聴制限設定**を選び、[**決定**]を押す。
   - 暗証番号確認の画面になりますので、数字ボタンを押して現在の暗証番号を入力してください。
2. [▲▼◀▶]を押して年齢制限とタイトル制限を設定する。

   年齢制限
   視聴制限を適用する年齢を設定します。

   タイトル制限
   制限対象となる番組に対して、番組タイトルや番組内容の表示抑止を行うかを設定します。
3. [▲▼◀▶]を押して**決定**を選び、[**決定**]を押す。

初期化を行う

お客様により施された設定を無効にし、工場から出荷された時点の状態に戻します。

1. 個人利用と制限画面で[▲▼]を押して**初期化**を選び、[**決定**]を押す。
2. [▲▼]を押して目的の項目の**開始する**を選び、[**決定**]を押す。

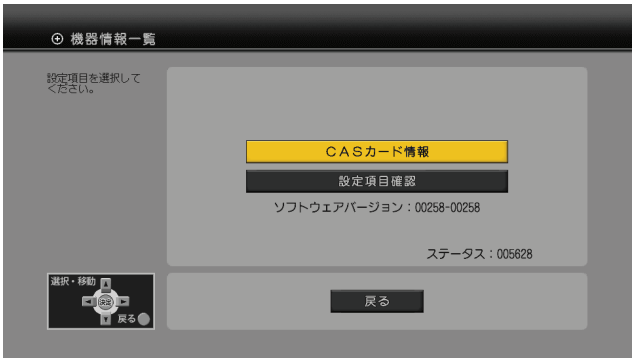
   設定情報の初期化
   設定情報のすべてを消去して初期化します。

   個人情報の消去
   お客様の個人情報のみを消去します。
3. [◀▶]を押して**はい**を選び、[**決定**]を押す。

お知らせ

- 一度消去したデータは復元できません。
- 本機を他人に譲渡するときは、必ず個人情報を消去してください。

機器設定



機器情報を見る

本機の機器設定とB-CASカードの情報を表示します。

1. [**デジタルメニュー**]を押す。
2. [◀▶]を押して**機器設定**を選ぶ。
3. [▲▼]を押して**機器情報一覧**を選び、[**決定**]を押す。

B-CASカードの情報を表示する

ご利用中のB-CASカードの情報を表示します。

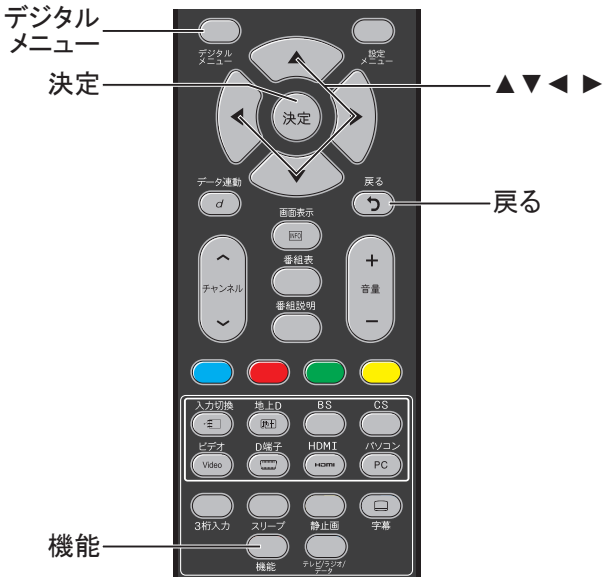
1. 機器情報一覧画面で[▲▼]を押して**CASカード情報**を選び、[**決定**]を押す。
   - 一度設定した暗証番号を変更する場合は、暗証番号確認の画面になります。数字ボタンを押して現在の暗証番号を入力してください。
2. 新しい暗証番号を2回入力する。
3. [◀▶]を押して**決定**を選び、[**決定**]を押す。

設定を確認する

現在の本機の設定を表示します。

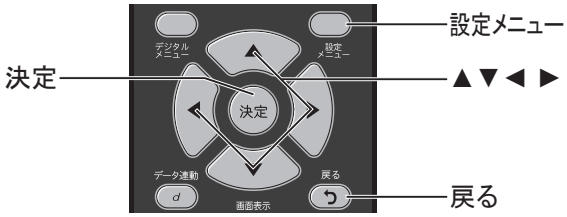
1. 機器情報一覧画面で[▲▼]を押して**設定項目確認**を選び、[**決定**]を押す。
2. それぞれの項目を確認する。

- このときに[▲▼]を押して**戻る**を選び[**決定**]を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。**次へ**を選ぶとひとつあとの画面に進みます。**終了**を選ぶと設定項目確認を終了します。



設定メニューを使う

設定メニューについて



本機をご使用いただく上での基本的な設定は、設定メニューを使って設定できます。

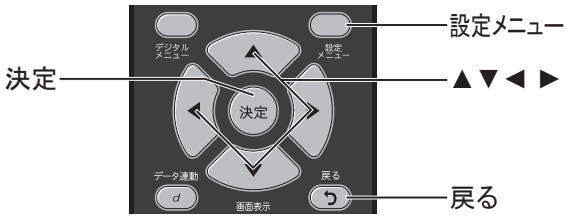
基本的な操作

設定メニュー中の操作方法は、原則的に以下の操作の組み合わせで行います。

[設定メニュー]を押す
[▲▼◀ ▶]で項目を選ぶ
[戻る]または再度**[設定メニュー]**を押して設定を確定する

画像

（オンタイマー は、地上デジタル放送視聴時のみ表示します）



本機の画像を設定します。

お知らせ

VGA入力・HDMI入力の場合はこのメニューの代わりに「VGA設定」メニューが表示されます。

画質モード

画質モードの切り替えを行います。

- 選択項目
  スタンダード：標準モードです。
  ダイナミック：カラー、シャープネス等をやや大きめに設定します。
  ユーザー：お客様のお好みに合わせて設定できます。

お知らせ

- **コントラスト/明るさ/色あい/色の濃さ/シャープネス/バックライト/省エネモード**は、**ユーザー**を選択した場合のみ設定できます。
- **[映像切換]**を押して設定することもできます。（地上デジタル、BS・110度CS放送のみ）

コントラスト

画面のコントラストを調整します。（右/ 高くなる　左/ 低くなる）

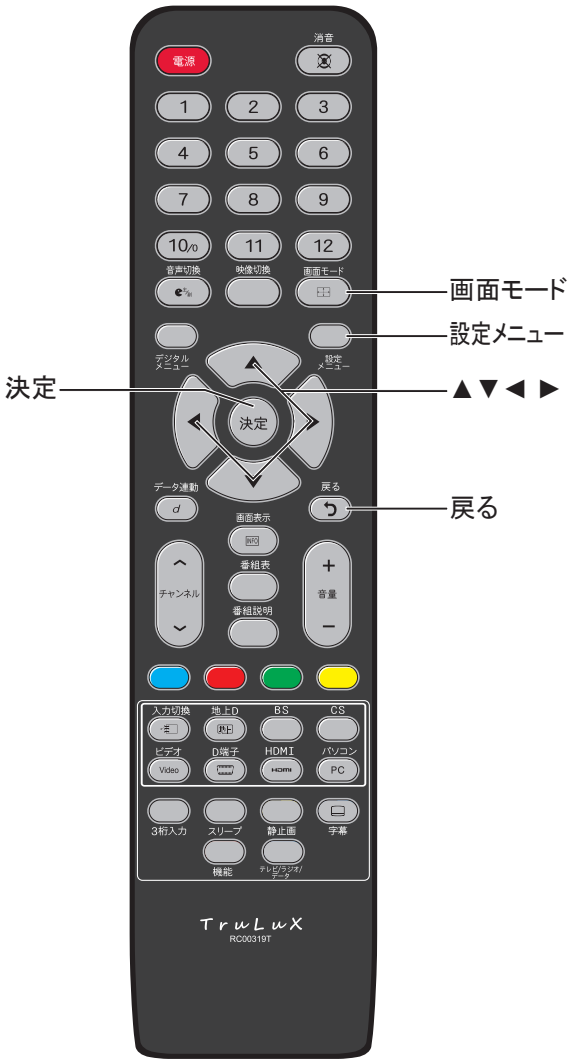
明るさ

画面の明るさを調整します。（右/ 明るくなる　左/ 暗くなる）

色あい

画面の色あいを調整（右程緑調に、左程赤調に）。

画像



色の濃さ

画面の色の濃さを調整します。(右/ 濃くなる　左/ 薄くなる)

シャープネス

画面の鮮やかさ調整を調整します。(右/ シャープになる、左/ ソフトになる)

バックライト

バックライトの明るさを調整します。

省エネモード

画面の明るさを抑えたり、消費電力を節約します。

色調

3段階の色温度を選択できます。
標準:標準の色の濃さに設定します。
暖色系:赤みの強い画面に設定されます。
寒色系:青みの強い画面に設定されます。

画面サイズ

画格の切り換えを行います。

● **フル**

画面いっぱいに映像を出力します。入力信号によっては映像が上下に引き伸ばされます。

● **ズーム1**

映像の縦横比を維持したまま中心を基準に画面を拡大します。画面の外枠が一部欠けます。

● **ズーム2**

ズーム1の画面全体を上に動かし、画面下部に出る字幕が見えるようにします。

● **4:3**

映像の縦横比を維持するため、画面の左右に黒い部分ができる設定です。

● **パノラマ**

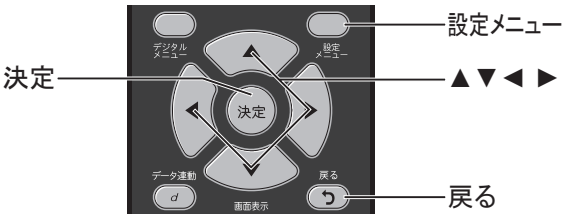
画面いっぱいに映像を出力します。入力信号によっては映像が左右に引き伸ばされます。

お知らせ

●入力の種類によって選択できる画面モードは異なります。
●**[画面モード]**を押して設定することもできます。

音声

（オンタイマー は、地上デジタル放送視聴時のみ表示します）



本機の音声出力を設定します。

音声モード

音声モードの切り替えを行います。

- 選択項目
  スタンダード: 低音から高音までフラットな標準音質モード。
  シネマ: 低音とサラウンドをやや強めた臨場感のある音質モード。
  音楽: 低音と高音を強調し、メリハリのある音質モード 。
  ユーザー: 自分好みの音質モード。

低音

低音の出力を調整します。

高音

高音の出力を調整します。

バランス

左右のスピーカーの音声バランスを調整します。

SRS

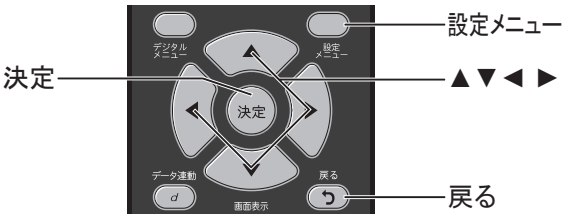
TruSurround XT® は、2つのスピーカーだけで、豊かな低音、明瞭な台詞と共に、臨場感あふれるサラウンドサウンド体験を創出します。

- この機能をオンにすると、サウンド・モードの切り替えが無効になります。

SRS TruSurround XT はSRS Labs, Inc.の商標です。
TruSurround XT技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

設定画面

（オンタイマー は、地上デジタル放送視聴時のみ表示します）



各種設定を行います。

水平位置

現在表示されているOSD（画面表示）画面の水平位置を調整します。

垂直位置

現在表示されているOSD（画面表示）画面の垂直位置を調整します。

表示時間

OSD（画面表示）画面の表示時間を設定します。（単位：秒）

言語

OSD（画面表示）の言語を選択します。

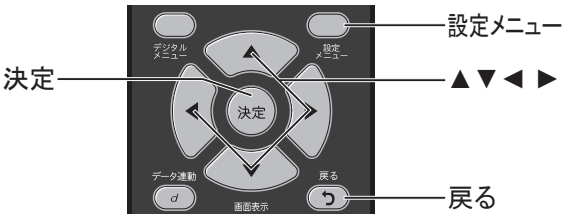
オーバースキャン

一般のテレビ受像器は、画像の端のゆがみやノイズを隠すために、送られて来た画面の周辺部を表示しないようにしている。この状態をオーバースキャンという。（ HDMIモードでのみ対応）

リセット

設定を初期状態に戻すことができます。この場合、▶ ボタンで操作します。

オンタイマー



オンタイマーは、設定した時間になると自動的に電源が入る機能です。

お知らせ

地デジ/BS/CS1/CS2 入力時。

曜日

毎日、月曜日～日曜日で設定します。オフを選択するとオンタイマーは働きません。

時刻　時・分

電源を入れる時間を、24 時間・60 分表示で設定します。

視聴時間

視聴時間を設定します。設定時間が経過すると自動的に電源が切れます。

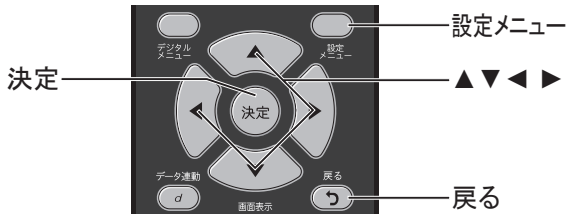
放送

視聴する放送を選択します。

音量

テレビの音量を設定します。

パソコン



パソコン入力時の設定を行います。

お知らせ

VGA/HDMI入力時のみ表示されます。

画質モード

画質モードの切り替えを行います。

- 選択項目
  スタンダード: 標準モードです。
  ダイナミック: カラー、シャープネス等をやや大きめに設定します。
  ユーザー: お客様のお好みに合わせて設定できます。

お知らせ

- **省エネモード**/**バックライト**/**コントラスト**/**明るさ**は、**ユーザー**を選択した場合のみ設定できます。

省エネモード

画面の明るさを抑えたり、消費電力を節約します。

バックライト

バックライトの明るさを調整します。

コントラスト

画面のコントラストを調整します。

明るさ

画面の明るさを調整します。

色調

5つの色温度を選択できます。

1. ▶ボタン を押して色調画面に移動します。
2. ◀▶ボタンで標準(標準色)、暖色系(濃め色)、寒色系(薄め色)、自設定(お好み)のいずれかを選択します。
3. “自設定”を選択したときは、赤、緑、青をそれぞれ調整してお好みの色を設定してください。

画面自動調整

画面の水平位置、垂直位置、微調整、水平サイズの調整を自動的に行います。この場合、▶を押します。

水平位置

画面の水平位置を調整します。

垂直位置

画面の垂直位置を調整します。

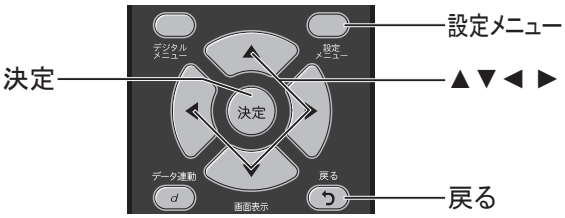
水平サイズ

画面の水平サイズを調整します。

パソコン

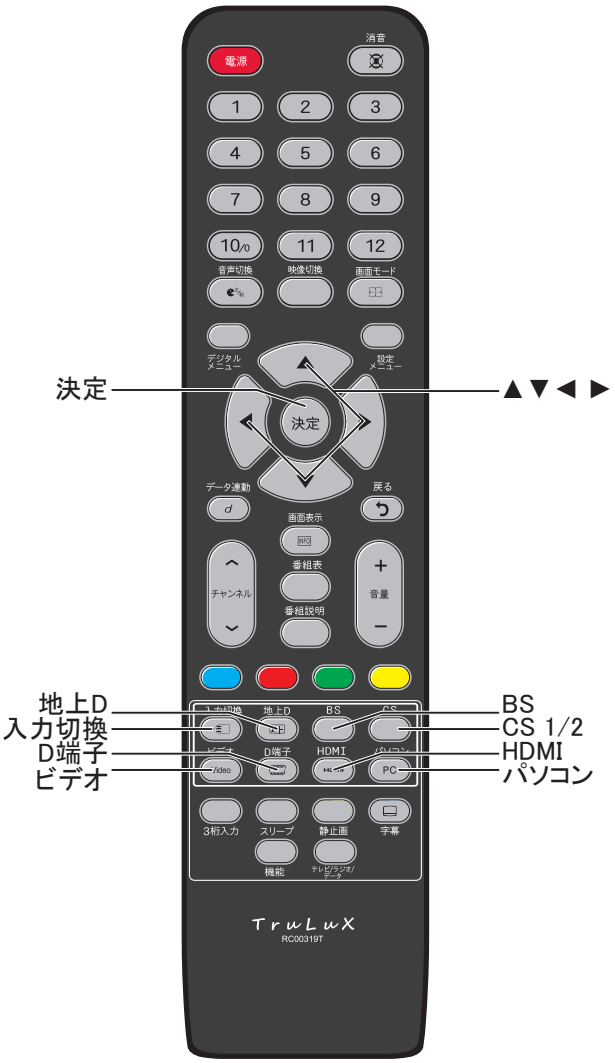
微調整

位相の遅延を調整します。画像が鮮明でないとき調整してください。



つないだ機器を使う

つないだ機器の映像を見る



接続を確認する

接続を確認してください。

入力を切り換える

- [**入力切換**]を押す。
- [**入力切換**]または[▲▼]を押して希望する入力を選ぶ。
- 約2秒で入力が切り換わります。[◀ ▶]または[**決定**]を押せばすぐに切り換わります。

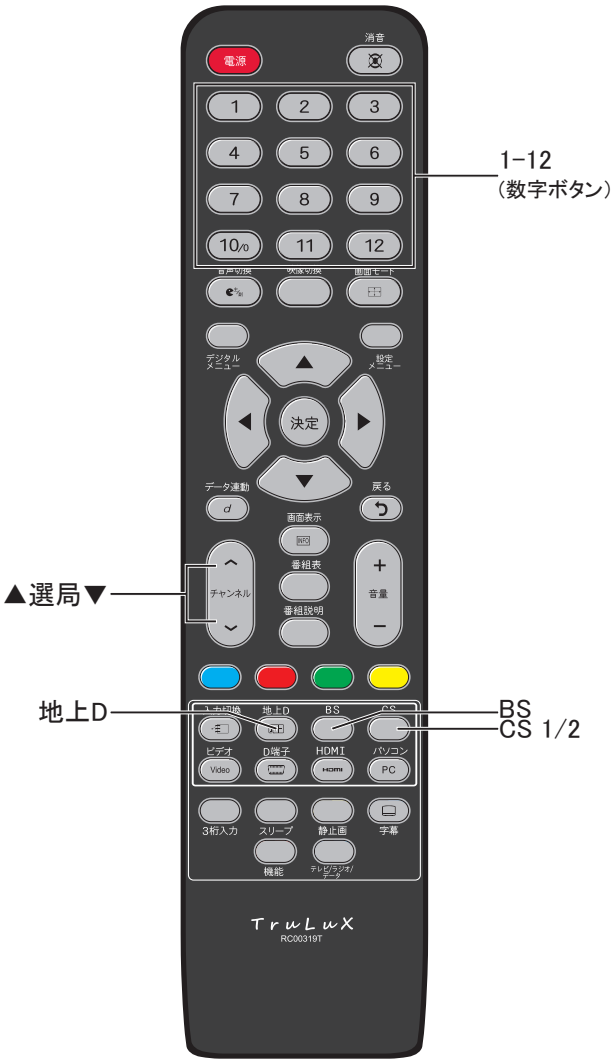
以下の順番で切り換わります。

D　:D入力に接続した機器の映像と音声を出力します。
HDMI　:HDMIに接続した機器の映像と音声を出力します。
パソコン:PC−アナログ入力端子に接続した機器の映像と音声を出力します。
地上D　:地上デジタル放送の映像と音声を出力します。
AV　:ビデオ入力に接続した機器の映像と音声を出 力します。
BS　:BSデジタル放送の映像と音声を出力します。
CS 1　:CSデジタル放送1の放送と音声を出力します。
CS 2　:CSデジタル放送2の放送と音声を出力します。

入力ソースを直接選択する

地上D　:地上デジタル放送に切り換えます。
BS　:BSデジタル放送に切り換えます。
CS 1/2　:110度CSデジタル放送を受信します。
ビデオ　:ビデオに切り替えます。
D端子　:D 端子に切り替えます。
HDMI　:HDMI 端子に切り換えます。
パソコン:パソコンに切り替えます。

つないだ機器の映像を見る



つないだ機器を再生する

つないだ機器の取扱説明書をご覧いただき、機器を再生してください。

お知らせ

- つないだ機器の再生からテレビ放送受信には、以下のボタンを押して切り換えることもできます。

[地上D]/[BS]/[CS1/2]：前回ご覧になっていたチャンネルを受信します。
数字ボタン：前回ご覧になっていた帯域の選択されたチャンネルを受信します。（放送のないチャンネル番号が入力された場合は前回ご覧になっていたチャンネルを受信します。）
[▲選局▼]前回ご覧になっていた帯域の前回ご覧になっていたチャンネルを受信します。

ご注意

- パソコン入力の無い状態でVGAを選択すると、直ちに本機の電源が切れます。この場合、**[地上D]/[BS]/[CS1/2]**を押すと、再び電源が入ります。。
- パソコンがパワーセーブ状態に入ると、本機ディスプレイには**「無信号」**の表示が出て、数秒後に本機の電源が切れます。パソコンをパワーセーブ状態から起動すれば、本機の電源が復帰します。

つないだ機器を通して音声を聞く

本機のデジタル放送の音声をお手持ちのAV アンプなどを使用して高音質でお楽しみいただけます。32ページをご覧いただき、接続を確認してください。

1. AVアンプを本機接続端子からの入力に設定する。
2. [**消音**]を押して本機を消音に設定する。

その他の情報

この章では、故障かなと思った場合の対処方法や用語の説明など、必要に応じてご参照いただく内容を記載しています。

故障かな？と思ったら..... 72

用語の解説 78

主な仕様..... 81

タイミング表 82

寸法図 83

故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

まず、以下の点をご確認ください。

- アンテナ線や電源コード、その他の接続
- 入力切換の設定
- 地上デジタル放送の受信チャンネルのスキャン状態（☞55ページ）（地上デジタル放送は受信チャンネルのスキャンを行わないと受信できません。）

以下の状態は故障ではありません。

画面の中に、点灯したままの点、または点灯しない点がある

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

ときどき「ピシッ」というきしみ音が出る

周囲との温度差によってキャビネットがわずかに伸縮するために起こる音です。故障ではなく、性能等におよぼす悪影響もありません。

デジタル放送のチャンネルを変えたり、番組が切り換わったりするときにノイズが出る

デジタルハイビジョン信号と標準テレビ信号など、映像の解像度が変化するときに、同期信号など白い線が見えることがあります。

原因と対策

● 全般

問　　題	原　　因	対　　策
映像も音も出ない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに挿してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。
電源が突然切れた/いつの間にか切れていた。	スリープタイマーが設定されている。	スリープタイマーをオフにしてください。
	VGA入力のモードで接続しているパソコンがパワーセーブモードに入った。	パソコンのパワーセーブモードから抜け出してください。
	コードの接続部が緩んでいるため、パソコンからの入力が途切れ、無信号になった。	しっかりと接続してください。
リモコンが動作しない。	電池が適切に入っていない。	指定された電池を、指定された向き(+、−)で、適切に入れてください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。
	向きが適切でない。	リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
	本機のリモコン受光部に、強い光が当たっている。	リモコン受光部に強い光が当たっていると、操作を受け付けない場合があります。カーテンやその他の遮蔽物で光を調整してください。
	近くに電子レンジがある。	近くに電子レンジがあると、操作を受け付けない場合があります。できるだけ本機と電子レンジは離して設置してください。

● 映像(全般)

問　　題	原　　因	対　　策
色がおかしい/画面が暗い。	画質が適切に設定されていない。	画質を適切に設定してください。(☞61・62ページ)
画面がまぶしい。	画質が適切に設定されていない。	画質を適切に設定してください。(☞61・62ページ)
画面が一部切れる/画面が歪む。	画面モードが適切でない。	[画面モード]または設定メニューで適切な設定を選んでください。(☞62ページ)

● 映像(デジタル放送)

問　　題	原　　因	対　　策
映像も音も出ない。	強風などでアンテナの向きが変わっている。	アンテナの向きを適切に調整してください。
	アンテナ電源がオフになっている。	電源コードを一度抜いてから、再度挿入してください。アンテナ電源がオフの状態になっている場合は、設定の初期化(☞59ページ)を行い、オンの状態にして下さい。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。(☞68ページ)
	B-CASカードが適切に挿入されていない。	適切に挿入してください。(☞18ページ)
地上デジタルの受信設定ができない/放送を受信できない。	アンテナが適切に接続されていない。	適切に接続してください。
	アンテナが地上デジタルに対応していない。	地上デジタルに対応したアンテナを使用してください。
	チャンネル設定が適切でない。	チャンネル設定をしなおしてください。
地上デジタルが映らない/画像が乱れる。	アンテナ線の接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	アンテナの位置/方向/角度が適切でない。	適切に調整してください。
	本機の近くで携帯電話や電子レンジを使用している。	本機の近くでの携帯電話や電子レンジの使用をおやめください。

● 映像（デジタル放送）

問　　題	原　　因	対　　策
地上デジタルが映らない/画像が乱れる。	受信設定が適切でない。	受信設定をしなおしてください。（☞54ページ）
	ブースターのレベルを上げすぎている。	ブースターのレベルを下げてください。
BSデジタル/110度CSデジタルが映らない/画像が乱れる。（衛星アンテナを直接つないでいる場合）	衛星アンテナがデジタル放送受信に対応していない。	デジタル放送に対応しているアンテナをご利用ください。
	衛星アンテナの前に障害物がある。	障害物を取り除くか、アンテナの取り付け位置を変更してください。
	衛星アンテナに雪が付着している。	雪を取り除いてください。
	衛星アンテナのコネクターの防水が不十分。	防水型のコネクターをご利用ください。
	アンテナケーブルの芯線が適切にコネクターに差し込まれていない。	適切に差し込んでください。（☞20ページ）
	衛星アンテナの位置/方向/角度が適切でない。	受信設定メニューを使用してBS/CSの受信レベルが最大になるようにアンテナの位置/角度/方向を調整してください。（☞54ページ）
	アンテナ線/ブースター/分配器/アンテナに不具合があり、安全のためにデジタル放送の全機能を停止している。	電源コードを一度抜いてから、再度挿入してください。アンテナ電源がオフの状態になっている場合は、設定の初期化（☞59ページ）を行い、オンの状態にして下さい。アンテナケーブルの芯線が適切にコネクターに差し込まれていない。
BSデジタル/110度CSデジタルが映らない/画像が乱れる。（マンションなどの共同受信システムの場合）	アンテナケーブルの芯線が適切にコネクターに差し込まれていない。	適切に差し込んでください。（☞21ページ）
	分波が適切でない。	サテライトU/V分波器で、VHF/UHFとBSデジタル/110度CSデジタルを分波してください。
BSデジタル/110度CSデジタルが映らない/画像が乱れる。（複数のBS機器をサテライト分配器でつないでいる場合）	本機からのアンテナ線を接続したサテライト分配器の端子が電流を通さないため、衛星アンテナ電源が供給されていない。	電流を通す分配器の端子にアンテナ線を接続してください。
BSデジタル/110度CSデジタルが映らない/画像が乱れる。（その他）	本機の近くで携帯電話や電子レンジを使用している。	本機の近くでの携帯電話や電子レンジの使用をおやめください。
	指定されたケーブルを使用していない。	指定されたケーブルを使用してください。
	有料チャンネルの受信申し込みが完了していない。	所定の手続きによって契約を完了させてください。
BSデジタルは映るのに、110度CSデジタルが映らない。	アンテナや分配器、ブースターなどが110度CSデジタルに対応していない。	110度CSデジタルに対応したものをお使いください。
	BSアナログチューナー内蔵のビデオデッキ経由でアンテナを接続している。	分配器を使って本機とBSアナログチューナー内蔵ビデオデッキそれぞれにアンテナを接続してください。
	衛星アンテナレベルの設定が不適切。	受信設定メニューを使用してCSの受信レベルが最大になるようにアンテナの位置/角度/方向を調整してください。（☞54ページ）
	受信契約が完了していない。	所定の手続きによって契約を完了させてください。
画面が暗くなり、何も映らない。	ラジオ放送を受信している。	デジタル放送では音声のみの放送もあります。映像を楽しみたい時は、他のチャンネルをお選びください。

● 接続した機器について

問　　題	原　　因	対　　策
接続した機器の映像が出ない。	コードの接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。（☞68ページ）
	接続した機器の出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
パソコンの画像が出ない。	パソコンが、テレビに画像を出力できるように設定されていない。	パソコンの取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
ビデオの再生/録画時に縞状のノイズが出る。	ビデオデッキが本機の近くにあるため、電磁波の干渉が起きている。	ビデオデッキを本機からなるべく離して設置してください。
ビデオの再生/録画時に映像が乱れたり、映らなくなったりする。	コンポジット映像信号（通常の映像信号）やS映像信号を、AVアンプなどの外部機器を通してコンポーネント映像信号に変換すると、映像が乱れたり、映らなくなることがあります。	コンポジット映像信号またはS映像信号を、本機のAV入力に直接接続してください。

● 音声（全般）

問　　題	原　　因	対　　策
映像は出るが、音が出ない。	音量が下がりきっているか、「消音」になっている。	音量を上げてください。
片方からしか音が聞こえない/左右の音量に差がある。	バランス設定が適切でない。	設定メニューでバランスを調整してください（☞63ページ）
ヘッドホンの音が、スピーカーの音よりも聞こえにくい。	ヘッドホンのインピーダンスが合っていない。	インピーダンスの高いヘッドホンでは音が低めに出ます。本機はインピーダンスが32オームのヘッドホンに合わせて設計してあります。

● 音声（デジタル放送）

問　　題	原　　因	対　　策
音声が出ない/音声がおかしい。	主音声/副音声の設定が適切でない。	主音声/副音声の設定をしなおしてください。（☞35ページ）

● 音声（接続した機器）

問　　題	原　　因	対　　策
画像は出るが、音が出ない。	接続した機器の音声出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
	音声ケーブルが正しく接続されていない。	音声ケーブルを正しく接続してください。

● 番組表

問　　題	原　　因	対　　策
番組表や他チャンネルリストが表示されないチャンネルがある。	一定時間視聴するか、待機状態にしないと表示されません。	しばらくお待ちいただくか、待機状態にしてください。
	チャンネル登録していない。	チャンネル登録をしてください。
チャンネル検索で表示される番組が少ない。	電源コードを抜いている間（電源ランプ：消灯）は、放送局が送信する番組情報を取得できないため。	リモコンの電源ボタンで電源を切り、待機状態（電源ランプ：赤）にしてください。
地上デジタルの放送局のマークが表示されない。	一定時間視聴しないと、表示されません。	しばらくそのままお待ちください。

● その他

問　　題	原　　因	対　　策
▼選局▲ボタンで選局できない。	チャンネル登録されてない。	チャンネル登録をしてください。
	複数のチャンネルで同時に同じ番組を放送しているときに、代表チャンネル以外を選局しようとしている。	代表チャンネル以外は選択できませんので、代表チャンネルで選局してください。
ペイパービューなどの有料放送が購入できない。	電話回線が適切に本機につながっていない。	適切に接続してください。
	電話回線の種類などが適切でない。	ペイパービューの購入には電話回線の接続が必要ですので、適切に接続してください。
	購入可能時間以外に購入しようとした。	番組によっては購入可能時間が設定されていますので、購入可能時間内に購入してください。
	購入可能件数を超えている。	購入可能件数を超えると購入できませんので、購入できるようになるまでお待ちください。
設定が正しく反映されない。	本機に設定が反映（記録）される前に電源を切った。	デジタル放送の信号には、多くの情報が含まれています。そのため、メニューの項目を設定した直後（約2分以内）に主電源を切ると、設定した内容が反映されないことがあります。このときは、もう一度設定をしなおしてください。
メニューが表示されない。	ソースによっては表示されないメニューもあります。	ソースを切り換えてください。
未読メールがありますと表示される。	デジタル放送や本機から発行されたメールが来ています。	メールの内容をご確認ください。（☞35ページ）

● こんな表示が出たときは

エラー番号	エラー内容	対応方法
E100	B-CASカードが未挿入です。	B-CASカードを正しく挿入して下さい。
E102	このカードは使用できません。正しいICカードを装着してください。	正しいB-CASカードを裏表、挿入方向を確認して、再挿入してください。カードのIC部の汚れや，破損の可能性があります。正しく装着しても改善されないときは，ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのカスタマーセンターにご連絡ください。
E103	このカードは使用できません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	契約されていない番組を選局しています。別のチャンネルに変更するか、該当する放送局と契約をしてください。
無し	スクランブル解除のための情報にエラーが発生しています。ご使用のCASカードの向きを確認してください。	カードを裏表、挿入方向を確認して、再挿入してください。カードのIC部の汚れや，破損の可能性があります。正しく装着しても改善されないときは，ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのカスタマーセンターにご連絡ください。
E202	信号が受信できません。	天候の影響、アンテナケーブルが切れている、アンテナの向きがずれているなどの理由で全く信号入力がないなど、アンテナ線の接続に問題がある可能性があります。アンテナケーブルが切れている場合はケーブルを交換し、正しく接続してください。
E203	現在放送されていません。	受信信号が弱い・無い、また放送終了後である可能性があります。地上デジタル放送の場合は、受信できる状態でいったん初期スキャンを行い、チャンネルを設定してください。
E204	このチャンネルはありません。	実在のチャンネルが割り当てられていない数字ボタンを押した場合に表示されます。実在のチャンネルが割り当てられた数字ボタンを押してください。
無し	低階層映像に切替わりました。	降雨対応放送に切り替わりました。気象条件などにより信号レベルが低下しています。気象条件などが良くなるまで、しばらくお待ち下さい。
無し	臨時放送が休止中のためご覧の放送局の別のサービスに切換えます。	臨時放送が終了・休止中の場合に表示されます。自動的に視聴可能なチャンネルに切り換わります。
E209	BS・110度CSアンテナ線がショートしています。アンテナとの接続を確認して電源を入れ直してください。	BS・110度CSアンテナ線がショートしています。アンテナとの接続を確認して電源を入れ直してください。アンテナ線/ブースター/分配器/アンテナに不具合がある時、安全のため自動的にデジタル放送の機能を完全に停止することがあります。電源コードを一度抜いてから、再度挿入してください。アンテナ電源がオフの状態になっている場合は、設定の初期化（☞59ページ）を行い、オンの状態にして下さい。
無し	アンテナ電源が「オフ」になっています。「オン」にするときは「初期化」から「設定情報の初期化」を行ってください。	アンテナ系統の不具合が生じてアンテナ電源が切れました。設定初期化を行ってアンテナ電源をオンにしてください。

用語の解説

下記は一般的な用語解説です。本機の仕様は異なっている場合があります。

110度CSデジタル放送

BSデジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルのみを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

5.1ch

左右のフロントスピーカー、センタースピーカー、左右のサラウンドスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。臨場感と迫力のある音声を楽しむことができます。

AAC（Advanced Audio Coding）

デジタル放送で標準に定められたデジタル音声圧縮方式です。高い圧縮率で高い音質を実現します。

B-CASカード

デジタル放送を見るために必要なICカードです。ユーザー認識のための番号や、チャンネルの契約・購入内容などの情報が記録されます。

BSデジタル放送

2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送です。高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。高音質のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組などへの参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

D端子

デジタル映像の圧縮データや高画質映像信号の伝送に適した、日本独自のコネクタの通称です。輝度信号（Y）と色差信号（Cb/Cr, Pb/Pr）で構成されるコンポーネント信号は従来3本のケーブルで接続していましたが、これを一本にまとめたものがD端子です。また、これらの信号の他に走査線数・走査方式・アスペクト比を切り換えるための識別信号の伝送も可能です。

EPG（Electronic Program Guide）

デジタル放送で放送局から送られてくる番組データを利用してつくる電子番組表のことです。

HDMI（High Definition Multimedia Interface）

PCとディスプレイの接続標準規格であるDVIに、マルチチャンネル音声伝送機能や著作権保護機能、色差伝送機能を加えるなどAV家電向けにアレンジしたインターフェースです。1本で非圧縮の映像・音声信号と制御信号を伝送できるので、AV機器間の連携が容易にできます。

MPEG（Moving Picture Experts Group）

デジタル動画圧縮技術の1つです。動画中の動く部分だけを保存するなどしてデータを圧縮します。デジタルテレビでは通常MPEG-2が採用されていますが、これは動画データを40分の1程度に圧縮することができます。

PCM（Pulse Code Modulation）

音声などのアナログ信号をデジタル信号に変換する方式の1つです。音楽CD（CD-DA）はこの方式を採用しています。

PPV（Pay Per View）

番組単位で購入する有料番組のことです。

S映像端子

S端子は輝度信号（Y）と色信号（C）に別れた映像信号を伝送します。このうち、色信号（C）に画面の縦横比の情報を乗せることで、テレビ側での自動判別を可能にしたものがS1/S2映像端子です。

イベントリレー

番組の途中で割り込みがあったり、その他の理由で番組が放送予定時間内に終わらなかった場合に、他のチャンネルで引き続き放送を行うことです。

コンポジット接続

通常の映像端子を使って映像信号を伝送する、最も普及している方式です。映像端子は通常1つのみで、音声端子と同じ形状で、色は黄色です。赤と白の音声出力と一緒に3本で接続するのが一般的です。

緊急警報放送

地上デジタル/BSデジタルのマルチ放送を利用し、地震などの災害時に放送される緊急ニュースなどを流します。

降雨対応放送

激しい雨による映像・音声の遮断を防ぐために、通常の放送に平行して降雨に強い方式で同じ番組を放送するものです。

字幕放送

せりふなどの音声を、文字にして画面に表示することができる放送です。

走査線

テレビでは、映像を細い糸のように分解し、横方向に走らすことによって画面を作っています。この糸を走査線といいます。走査線の数が多いほど画質がよくなります。

地上デジタル放送

2003年12月から一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHFの周波数帯域を利用して放送されます。ゴーストの無い高画質な映像と多チャンネルの放送を楽しむことができます。デジタルハイビジョン放送やデータ放送、双方向サービスなどを楽しむことができます。

デジタルハイビジョン放送

通常のアナログ放送の走査線が525本であるのに対し、1125本や750本のプログレッシブの高画質な映像です。大画面の映像に適しています。

プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、全ての走査線を順番に描く方法です。インターレースに比べて画像のチラツキが少なく、文字や静止画を表示することに適しています。「525p」や「750p」の「p」はプログレッシブ（progressive）を指しています。

マルチチャンネル放送

地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号（SD）で、1つの放送局で複数の番組を放送することです。

マルチビュー放送

前述のマルチチャンネルの技術を使って、同じ番組を別の視点から見た映像を見るなど、複数の映像を切り換えて見ることができます。

有効走査線数

走査線の中で、映像信号が載っている走査線の数をいいます。地上アナログでは525本の走査線のうち有効走査線数は480本、デジタルハイビジョンでは1125本のうち1080本となっています。有効走査線ではない走査線には、画面の縦横比を規定した識別制御信号などが載っています。

臨時放送

前述のマルチチャンネルの技術を使って、同一放送局の他チャンネルで臨時の放送を行うことです。

主な仕様

この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧、放送方式が異なるため使用できません。
This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

型名	TLX-LED240BV3
質量	4.7 Kg
外形寸法(幅×高さ×奥行)	563.3 x 413.2 x 218.3 mm
LCD タイプ	23.6″
液晶パネル　アスペクト比	16:9
画素数	1920 x 1080
輝度	300 cd/m2
コントラスト比	1000:1
視野角　上下／左右	160°　/170°
解像度	1920 x 1080 @ 60 Hz (推奨) 1680 x 1050 @ 60Hz 1440 x 900 @ 60Hz 1280 x 1024 @ 60, 75 Hz 1280 x 960 @ 60 Hz 1152 x 864 @ 75 Hz 1024 x 768 @ 60, 70, 75 Hz 800 x 600 @ 56, 60, 72, 75 Hz 640 x 480 @ 60, 72, 75 Hz
音声出力	2.5W x 2
光音声出力	ー15〜 ー21dB (mW), 波長 660nm, EIAJ CP-1201準拠
	AAC 5.1ch 出力
接続端子	・HDMI映像音声入力×1 ・D映像+ステレオ音声入力×1 ・コンポジット映像十ステレオ音声入力×1 ・PC-VGA映像十ステレオ音声入力×1 ・ヘッドホン端子(32Ω)x1 ・地上デジタルアンテナ入力×1 ・BSデジタル・CSデジタルアンテナ入力×1 ・デジタル音声出力×1 ・サービス用×1
応答速度	5ms
消費電力/(待機電力)	44W/0.6W
年間消費電力	65kWh
受信チャンネル	VHFch1-ch12/UHFch13-ch62
	地上デジタル000〜999
	BSデジタル、110度CSデジタル放送の各チャンネル
使用環境／保管環境	温度:0℃〜40℃/-20℃〜60℃
	湿度:20%〜80%RH/10%〜90%RH(結露なきこと)
	高度:0〜2,000m/0〜3,790m

仕様の一部を予告無く変更することがありますのでご了承ください。

注意:TV パネルの“MENU”と“CH▼”のキーを同時に押して、近似のPCタイミングの間で切り替えを行うようにします。
近似のPCタイミングは次のものがあります:
・640 x 400 @ 70Hz / 720 x 400 @ 70Hz
・1024 x 768 @ 60Hz / 1280 x 768 @ 60Hz / 1360 x 768 @ 60Hz

タイミング表

1. 対応のモード

下表は信号対応の表示モード一覧表になります。本製品は、対応対象外の解像度を持つ信号が入力されると、動作を自動的に停止するか、または表示不可能になります。最高の画質をお楽しみいただくために、下表に従って表示モードを設定してください。
（Macintoshなど、Windows 2000/XP/7 以外の動作は検証しておりません）

モード	CVBS	D	HDMI	TV	VGA
RF（アナログ）	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ
NTSC 480i	はい	はい	はい	いいえ	いいえ
NTSC 480p	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ
HD 720p	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ
HD 1080i	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ
HD 1080p	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ
640 x 480 @ 60Hz	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
640 x 480 @ 75Hz	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
800 x 600 @ 60Hz	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
800 x 600 @ 75Hz	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1024 x 768 @ 60Hz	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1024 x 768 @ 75Hz	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1152 x 864 @ 75Hz	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1280 x 960 @ 60Hz	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1280 x 1024 @ 60Hz	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1440 x 900 @ 60Hz	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1680 x 1050 @ 60Hz	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい
1920 x 1080 @ 60Hz	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい

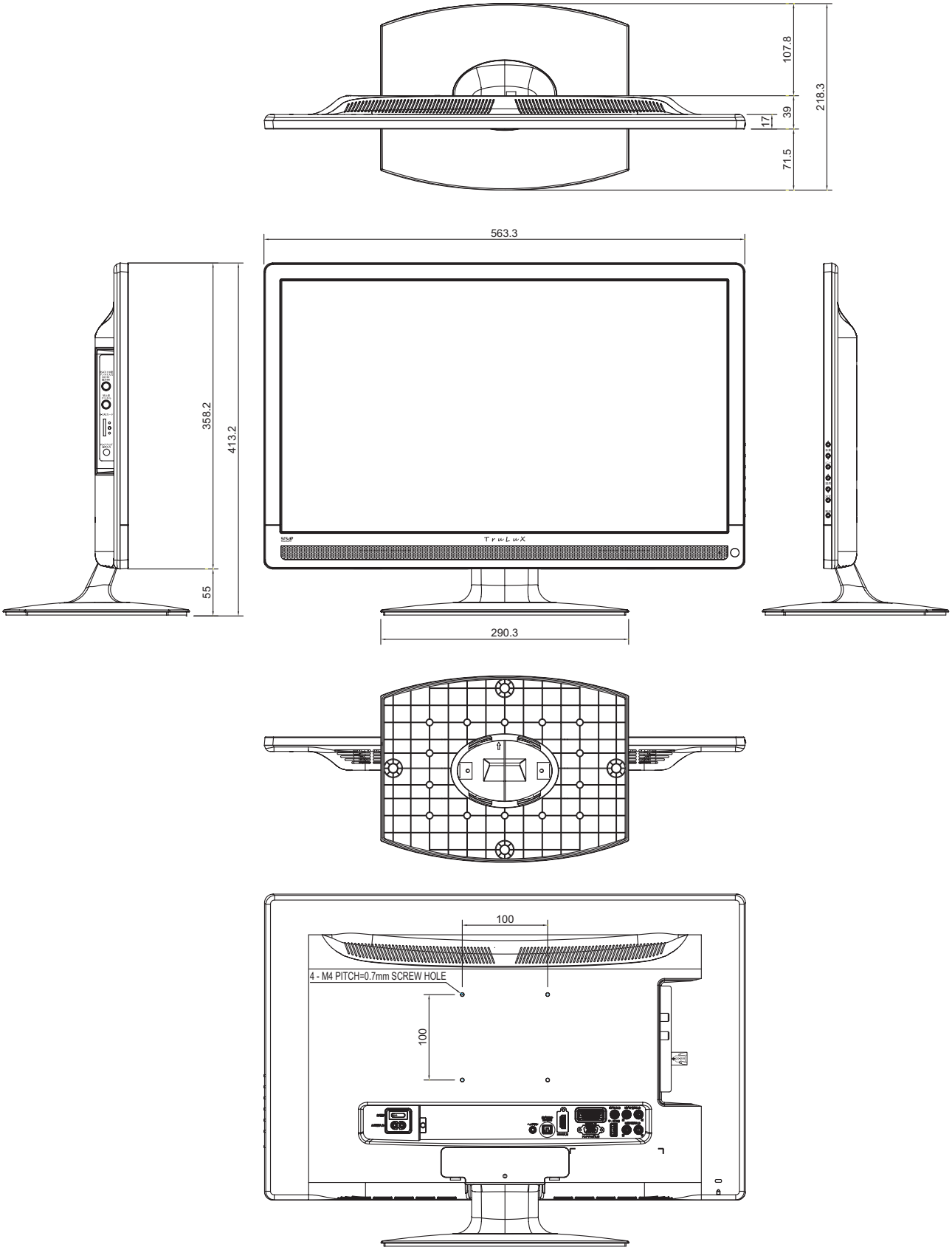
2. 画面サイズの設定

モード	フル	4:3	ズーム1	ズーム2	パノラマ
NTSC 480i*	はい	はい	はい	はい	はい
NTSC 480p**	はい	はい	はい	はい	はい
HD 720p**	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
HD 1080i**	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
HD 1080p**	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
640 x 480 @ 60Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
640 x 480 @ 75Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
800 x 600 @ 60Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
800 x 600 @ 75Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
1024 x 768 @ 60Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
1024 x 768 @ 75Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
1280 x 960 @ 60Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
1280 x 1024 @ 60Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
1440 x 900 @ 60Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
1680 x 1050 @ 60Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
1920 x 1080 @ 60Hz	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

※ *= 出荷値、** = D/HDMI 入力の場合でも可能

寸法図

TLX-LED240BV3



単位：mm

本製品は、データ放送用BML機能として㈱ACCESSのNetFront V3.1 DTV Profile を搭載しています。

NetFrontは、株式会社ACCESSの日本およびその他の国における登録商標または商標です。
本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

TruLux

株式会社 **勝山**
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中6-9, 8C-02
TEL：078-846-0711(代表) http://www.trulux.net/
TEL：078-846-0722(サービスセンター)

P/N: 2001132427T